無印良品

コンパクト CD レコーダー
形名 DTR-N5

取扱説明書

- お買い上げいただきまして、ありがとうございました。
- 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みください。
- お読みになったあとはいつでも見られる所に大切に保管してください。

保証書付 裏表紙にあります

もくじ

はじめに

聞く

録音する

編集する

もっと使いこなす

録音の設定をする

本機の設定をする

困ったときは

安全上のご注意

安全のため必ずお守りください

■ 絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ 絵表示の例

△の記号は「注意（警告を含む）をうながす事項」を示します。
⃠の記号は「してはいけない行為（禁止事項）」を示します。
●の記号は「しなければならない行為」を示します。

お願い

「安全上のご注意」のイラストと本機とでは若干形状等が異なることがありますがご了承ください。

⚠ 警告

万一、異常や故障が発生したときはすぐに使用をやめてください

次のようなときは、そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに本体の⏻（電源）ボタンで電源を切り、電源アダプターをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。お客さまによる修理は危険ですから絶対おやめください。

- **煙が出ている、変なにおいや音がする（異常状態）**
  煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
- **本機の内部に水などが入った**
- **異物が本機の内部に入った**
- **映像や音が出ないなど（故障状態）**
- **倒したり落としたりして、キャビネットを破損した**

⚠ 警告

電源について

■ 電源アダプター接続時の注意

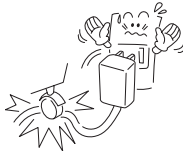
次のことをお守りください。誤った使い方をすると発熱などにより、火災の原因となります。

- 電源アダプターは付属品以外使用しない
  （市販品は絶対に使用しないこと）
- 電源アダプターはコンセントへ確実に接続する
- 電源アダプターのコードは束ねたまま使用しない
- たこ足配線はしない

■ 電源アダプターのコードを傷つけない

無理な使い方をすると電源アダプターのコードが破損しますので、次のようなことはしないでください。

- 電源アダプターのコードの上に重いものを乗せる
- 途中でつぎ足したりして加工する
- 無理に折り曲げる
- 傷をつける
- ねじったり、引っ張ったりする
- 熱器具に近づける

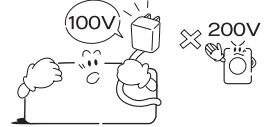
禁　止

電源アダプターのコードが傷んだときは、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

■ 定期的に点検を

設置時から１年に１度は電源コンセントと電源アダプターの間にホコリが付着していないか、電源アダプターのコードに傷みがないか、電源アダプターが抜けかけていないかなどを点検してください。

■ 電源電圧 100V 以外や国外では使用しない

表示された電源電圧（AC 100V）以外の電圧で使用しないでください。火災、感電の原因となります。
また、本機を電源アダプターで使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
This unit is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

禁　止

■ 雷が鳴り出したら

電源アダプターやアンテナ線には絶対に触れないでください。感電の原因となります。

接触禁止

警告

使用方法・設置

■ 分解しない

本機を分解、改造しないでください。火災、感電の原因となります。内部の点検、調節、修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

分解禁止

■ 本機の上に水などの入った容器を置かない

内部に水などが入った場合、火災、感電の原因となります。

禁　止

■ ぬらさない

- 本機をぬらさないようにご注意ください。火災、感電の原因となります。
- 風呂場、水辺、雨天の中などでは使用しないでください。

水ぬれ禁止

■ 異物を入れない

通風孔やディスクテーブルなどから、金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。(特に小さなお子さまのおられるご家庭はご注意ください。)火災、感電の原因となります。

禁　止

■ 通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。本機の後部や底部などに通風孔があり、次のような使い方はしないでください。

- 本機をあお向けや横倒し、逆さまにする
- 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に置く
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上に置く

禁　止

■ 壁にぴったりつけない

本機の設置は、壁から 10 cm 以上の間隔をあけてください。また、他の機器との間は少し離してください。

ラックなどに入れるときは、本機の天面および背面からそれぞれ 10 cm 以上のすきまをあけてください。すきまがないと、内部に熱がこもり火災の原因となります。

禁　止

⚠ 注意

■ 電源アダプターを抜くときの注意

- ぬれた手で電源アダプターをさわらないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源アダプターを抜くときは、アダプター、プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

■ 設置場所に注意

- じゅうたんやたたみ、塩化ビニール製の床材や家具などの上に設置するときは、下に板などを敷いてください。直接置くと床面が変色することがあります。
- 湿気、ほこりの多い場所や、油煙、湯気が当たる場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など温度が高くなる場所に放置しないでください。火災、故障の原因となることがあります。

■ 本機を不安定な場所に置かない

平らで水平な場所に設置してください。不安定な場所に置きますと、倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

■ 本機の上に重いものを置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。また、本機の上に乗らないでください。

■ ディスク挿入口に手を入れない

けがの原因となることがあります。（特に小さなお子さまのおられるご家庭はご注意ください。）

■ 持ち運びの注意

ディスクおよび SD カードを取り出して電源を切り、外部接続をすべてはずしてからおこなってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

■ スピーカーの前に割れやすいものなどを置かない

スピーカーからの空気圧により倒れたり、落下して、故障やけがの原因となることがあります。

■ 変形やひび割れしたディスクは使用しない

変形、ひび割れ、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。ディスクは本機内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。
また、セロハンテープやレンタル店のラベルなどの糊がはみ出したり、はがしたあとがあるディスクも使用しないでください。

■ ヘッドホンやイヤホンの音量に注意

音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

■ 音量に注意

- 電源を切るときは音量を小さくしておいてください。電源を入れたとき、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

⚠ 注意

■ 他機器との接続について

テレビ、ビデオ、オーディオ機器などを接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明にしたがって接続してください。電源を入れたまま接続すると、感電、けがの原因となることがあります。

■ 電磁波の発生する機器に近づけない

携帯電話、充電器や電磁波の発生する電気製品に近づけないでください。電磁波のためにノイズの影響が生じることがあります。

■ クレジットカードなどをスピーカーに近付けない

本機のスピーカーには強力な磁石を使用していますので、時計、クレジットカード、磁気定期券、カセットテープ、ビデオテープなどは、スピーカーのそばに置かないでください。データが壊れて使用できなくなることがあります。

■ 長期間（1ヶ月以上）使用しない場合やお手入れの際の注意

安全のため電源アダプターをコンセントから抜いてください。

■ 内部の掃除について

1年に1度は内部の掃除について、お買い上げの販売店にご依頼ください。内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災、故障の原因となることがあります。

■ 乾電池（リモコン用）使用上の注意

乾電池の使い方を誤ると、乾電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。次のことをお守りください。

- 指定以外の乾電池は使用しない。
- 極性（⊕と⊖）に注意し、表示通りに入れる。

- 種類の異なるものや、新旧の乾電池を混ぜて使わない。
- 乾電池を充電、加熱、分解したり、火や水の中に投入しない。
- ショートさせない。

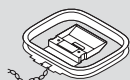
- 長期間（1ヵ月以上）使用しないときは、乾電池を取り出しておく。

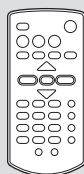
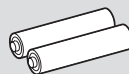
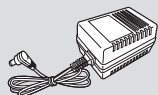
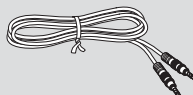
もし、液もれが起こったときは、電池ケースについた液をよくふき取ってから新しい乾電池を入れてください。万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

※ 充電可能な乾電池については使用説明書に従ってご使用ください。本機の乾電池は通常アルカリ電池のことをさして説明しています。

付属品

■ 付属品がそろっていることを確認してください

AM ループアンテナ
（1個）

FM室内アンテナ
（1個）

リモコン
（1個）

リモコン用乾電池
（単4形：2本）
＊動作チェック用

電源アダプター
（AC-120150A：1個）

オーディオケーブル
（1個）

本書(保証書付)
（1冊）
※保証書は裏表紙にあります。

付属電池に関するご注意

- 付属の電池はお試し用として工場を出荷するときに入れていますので、電池寿命が短いことがありますがご了承ください。
- ご使用のまえに乾電池本体に表示されている使用推奨期限もご確認ください。

設置するときは

本機を設置するときは、下記のように設置してください。

設置方法

- 設置する場所は必ず平らで安定した場所に置いてください。台などの上に置く場合は、必ず台の強度を確認してから置いてください。
- スピーカーの磁気により、テレビやパソコンの画面に色ムラが発生することがあります。テレビやパソコンから少し離して置いてください。

⚠注意

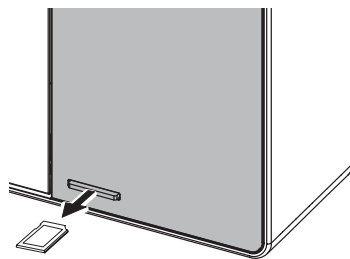
機器を設置するときは、下記のことをお守りください。放熱が十分でないと、内部に熱がこもり、故障や火災の原因となることがあります。

- 機器の背面に、放熱の妨げになるものを置かないでください。

機器は電源コンセントに容易に手が届く位置に設置し、異常が起きた場合すぐに電源アダプターをコンセントから抜いてください。
また、電源を切っただけでは機器は電源から完全に遮断されません。
完全に遮断するには、電源アダプターを抜いてください。

移動時または輸送時のご注意

本機を移動または、輸送する場合は下記の操作をおこなってください。

① 本機に装着したSDカードおよびCDを取り外してください。
取り付けたまま移動すると機器の破損の原因となることがあります。
② SDカード、CDそれぞれの ►/II（再生/一時停止）ボタンを押し、[SDカードを挿入してください]、[CDを入れてください]がディスプレイに表示されるのを確認します。
③ 数秒間待ち、電源を切にします。

接続のしかた

本機と付属品の接続

すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合は、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。

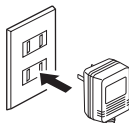
アンテナを接続しないと、AM、FM放送を受信できません。図にしたがって正しく接続してください。

接続上のご注意

接続が終了するまで、電源アダプターをコンセントに差し込まないでください。
接続したコード、ケーブル類を抜くときは、事前に必ず電源を切にし、電源アダプターをコンセントから抜いてください。

FM室内アンテナ

付属のアンテナは室内用の簡易アンテナで、一時的に使用するものです。安定した受信のためには、屋外アンテナ（市販）の接続をお勧めします。屋外アンテナを接続するときは、簡易アンテナは取り外してください。

①アンテナ端子に接続する。
②受信状態のよい位置をさがす。
③テープなどで固定する。

AC100V、50/60Hzの
電源コンセントへ

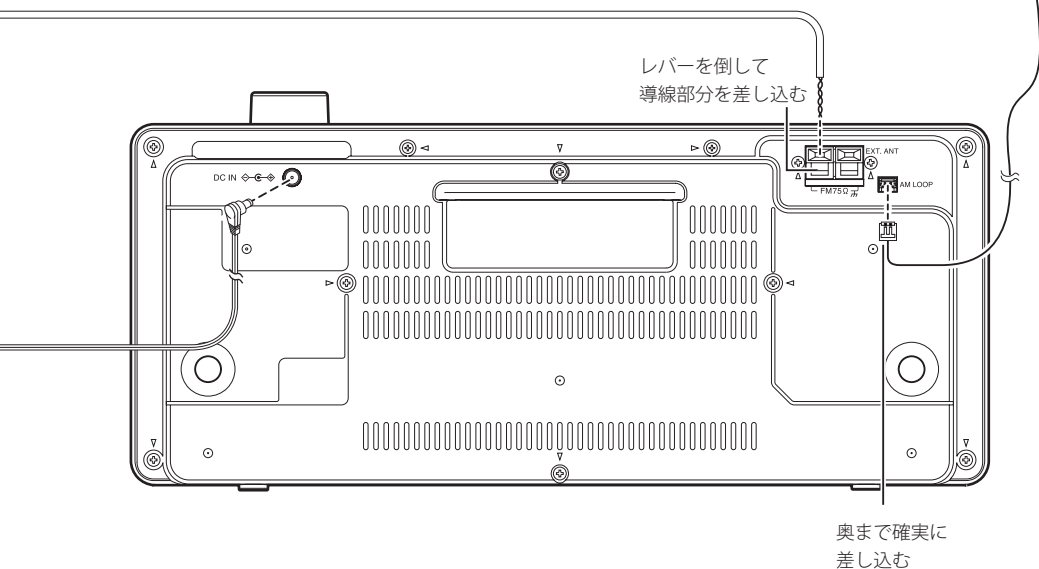
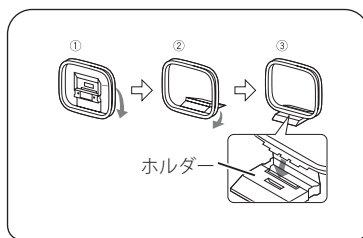
電源アダプター

電源アダプターは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。

本機には付属の電源アダプター「AC-120150A」（JEITA規格・極性統一型プラグ付き）をご使用ください。

つづく

AMループアンテナ

付属のアンテナは室内用です。本機、TV、スピーカーコード、電源コードからなるべく離れたところで、受信状態の一番よい方向に向けます。

接続のしかた

他の機器（市販品）との接続

外部機器を接続するときは、外部機器の取扱説明書も併せてご覧ください。

すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合は、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。

接続上のご注意

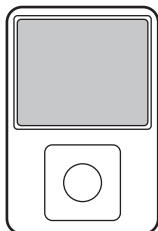
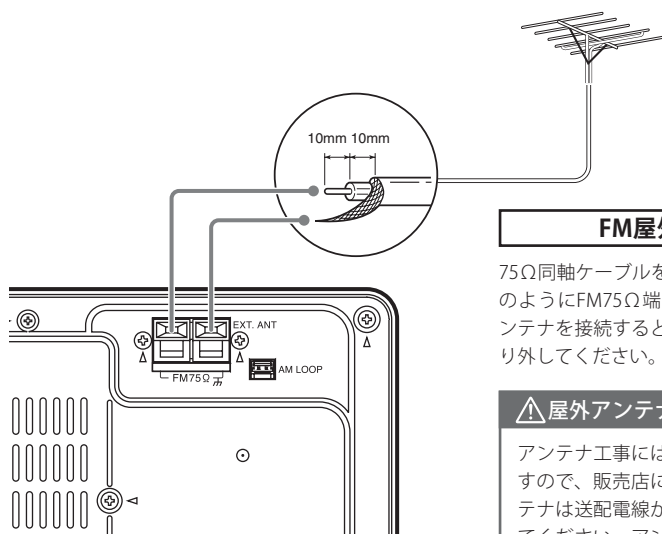
接続は必ず本機の電源が切の状態（暗いディスプレイ部にカレンダが表示）でおこない、接続が終了するまで電源を入にしないでください。
接続したコード、ケーブル類を抜くときは、事前に必ず電源を切にしてから抜いてください。

PHONES（ヘッドホン）端子

ステレオミニプラグのヘッドホン（市販）を接続します。

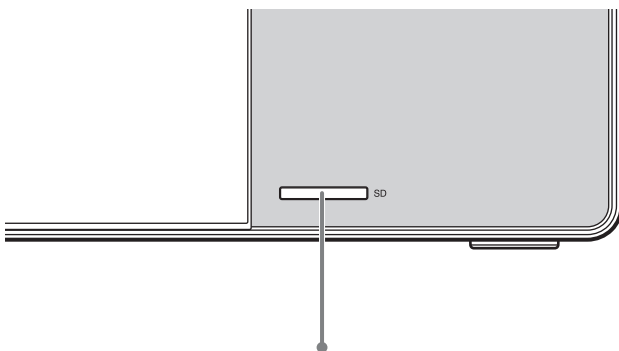
LINE IN（外部入力）端子

付属のオーディオケーブルでオーディオプレーヤーやMDプレーヤーなどを接続します。（37ページ参照）

※ 付属のオーディオケーブルで接続できない場合は、接続する機器に合わせて市販の接続ケーブルをご用意ください。

FM屋外アンテナ

75Ω同軸ケーブルを使って屋内へ引込み、図のようにFM75Ω端子に接続します。屋外アンテナを接続するときは、簡易アンテナは取り外してください。

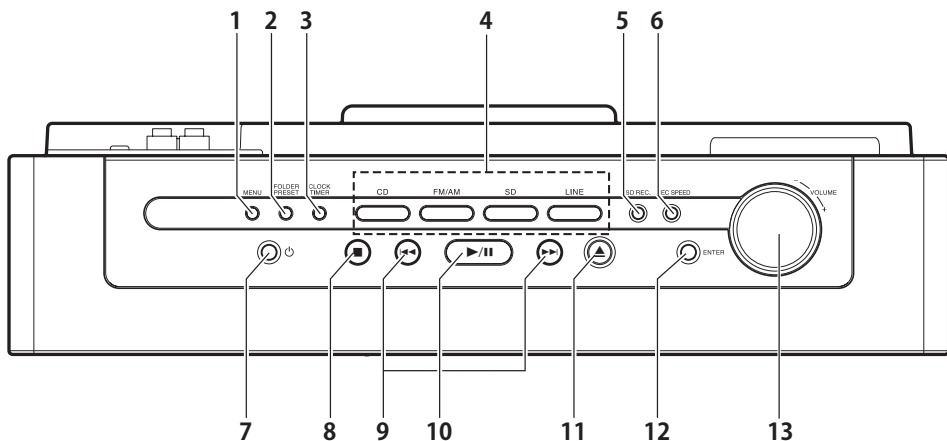
⚠屋外アンテナの設置上のご注意

アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因になることがあります。

SD（SDカード）スロット

SDカード（市販）を入れます。
（26ページ参照）

各部のなまえと働き

本体部

本文中のディスプレイ表示は、実際の表示と異なる場合もあります。

1 MENUボタン
本機の各種設定をするときに使います。

2 FOLDER/PRESETボタン（29、39ページ参照）
SDカードのフォルダや曲ファイルを選びます。
プリセットした放送局を選びます。

3 CLOCK/TIMERボタン（54ページ参照）
電源が入のときに押すと、ディスプレイに約20秒間日時を表示します。
タイマーを設定します。

4 音源（ファンクション）ボタン
音源を切り換えます。

5 SD REC.ボタン（44ページ～参照）
SDカードに録音します。

6 REC SPEEDボタン（64ページ参照）
録音スピードを設定します。

7 ⏻（電源）ボタン
電源の入/切を切り換えます。

8 ■（停止）ボタン
再生、録音を停止します。
各種設定を途中でキャンセルします。

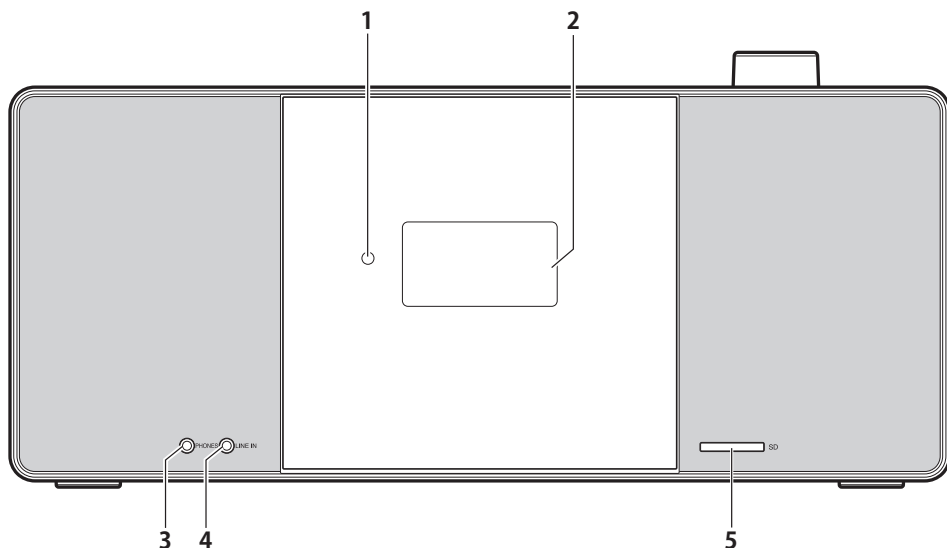
9 ⏮ ⏭（スキップ/サーチ、選局、選択）ボタン
曲や曲ファイル、放送局を選びます。
頭出し、早送り、早戻しします。

10 ▶/II（再生/一時停止）ボタン
ファンクションボタンで選んだ音源を再生、一時停止します。

11 ⏏（CDドアオープン）ボタン
CDドアを開けます。

12 ENTERボタン（40ページ参照）
各種設定を確定します。
放送局をプリセットします。

13 VOLUME－＋ つまみ
つまみを回して各種設定項目を選択します。
つまみを回して音量を調節します。

つづく

1 リモコン受光部（17ページ参照）

2 ディスプレイ部

3 PHONES（ヘッドホン）端子（12ページ参照）
ステレオミニプラグのヘッドホン（市販）を接続します。

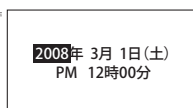
4 LINE IN（外部入力）端子（12ページ参照）
外部機器を接続します。

5 SD（SDカード）スロット（26ページ参照）
SDカード（市販）を入れます。

時計を合わせる

タイマー機能を利用できるように本機の時計を合わせてください。電源が切のときに、ディスプレイに時刻が表示されます。

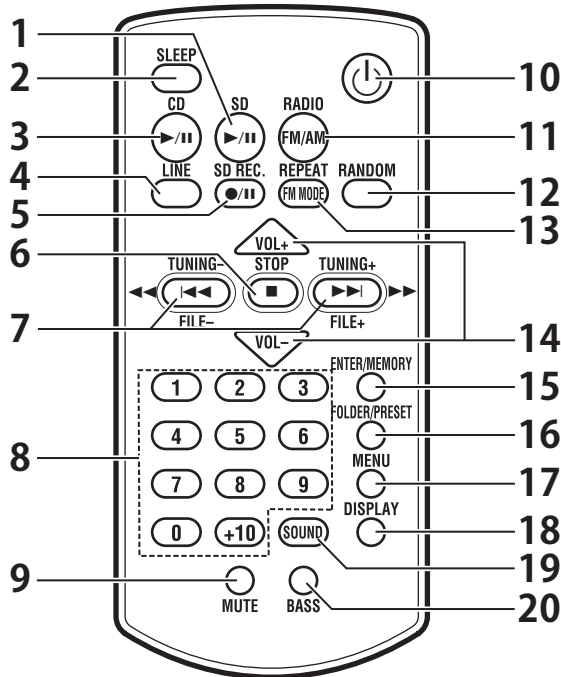
1 時計表示中（電源が切のとき、または本体のCLOCK TIMERボタンを押したとき）に本体のENTERボタンを2秒以上押す。

2 年、月、日、時、分を合わせる

※電源が切のときに ⏭ ボタンを押しながら CLOCK TIMER ボタンを押すと、12時間表示／ 24時間表示を切り換えることができます。

※ ■ ボタンを押すと、もとの表示に戻ります。

各部のなまえと働き

リモコン部

本体部と同じ名前のボタンは、本体部と同じ働きをします。

1 SD ►/❚❚（再生/一時停止）ボタン

SD音源に切り換え、再生、一時停止します。

2 SLEEPボタン（59ページ〜参照）

おやすみタイマーを設定します。

3 CD ►/❚❚（再生/一時停止）ボタン

CD音源に切り換え、再生、一時停止します。

4 LINEボタン（48ページ参照）

音源を外部入力に切り換えます。

5 SD REC. ●/❚❚ ボタン（44、46、48ページ〜参照）

SDカードに録音します。

6 STOP ■（停止）ボタン

再生、録音を停止します。

各種設定を途中でキャンセルします。

7 |◄◄ ◄◄ / ►► ►►| / TUNING/FILE－＋ボタン

曲や曲ファイル、放送局を選びます。

頭出し、早送り、早戻しします。

8 数字ボタン（29、31、38ページ参照）

曲、放送局を選びます。

9 MUTEボタン（26ページ参照）

一時的に消音します。

10 ⏻（電源）ボタン
電源の入/切を切り換えます。

11 RADIO FM/AMボタン（38ページ参照）
音源をFM/AMに切り換えます。

12 RANDOMボタン（32ページ参照）
順不同に再生します。

13 REPEATボタン（33ページ参照）
繰り返し再生します。

FM MODEボタン（39ページ参照）
MONO/STEREOを切り換えます。

14 VOL＋－ボタン
音量を調節します。

15 ENTER/MEMORYボタン（40ページ参照）
各種設定を確定します。

放送局をプリセットします。

16 FOLDER/PRESETボタン
SDカードのフォルダを選びます。

プリセットした放送局を選びます。

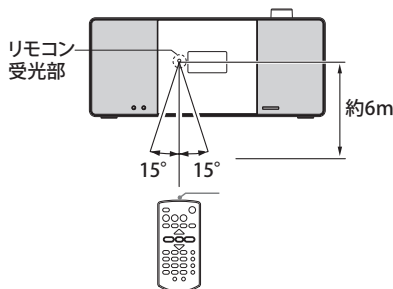
17 MENUボタン
本機の各種設定をするときに使います。

18 DISPLAYボタン（60ページ参照）
タイトルや時間をディスプレイに表示させます。

19 SOUNDボタン（36ページ参照）
お好みのサウンドを選びます。

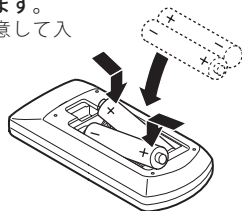
20 BASSボタン（36ページ参照）
低音を強調します。

リモコンの使える範囲

電源アダプターをコンセントに差し込み、リモコンの⏻（電源）ボタンを押すと、電源が入になります。
電源が入になったら、操作したいボタンを押します。

● リモコン受光部に直射日光や高周波点灯（インバーター方式等）の蛍光灯の光が当ると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

リモコン用乾電池の入れ方

① 電池カバーを外します。

② 付属の単4形乾電池を入れ
電池カバーを閉めます。
※ 電池の極性に注意して入れてください。

● 付属の乾電池は動作チェック用のため、寿命が短いことがあります。
● 電池が切れたときは市販の単４形乾電池を使用します。

知っておいていただきたいこと

本機で使えるメディア

メディア		本書でのマーク	説　明
SD カード	SDカード miniSD™ カード microSD™ カード		● 128MB ～ 2GB の SD カードが使用できます。 ● SDHC（4GB 以上）は使えません。 ● マルチメディアカード（MMC）は使えません。 ● miniSD ™カード、microSD ™カードは専用アダプターが必要です。
C D	市販の音楽CD CD-DAのフォーマットで記録したCD-R/CD-RW		● コピーコントロール付き CD など、CD 規格外ディスクの再生は保証しておりません。 ● CD-DA のフォーマットで記録し、記録終了時にファイナライズした CD-R と CD-RW が再生できます。 ● CD-R/RW ディスクを録音した機器や録音状態、また使用している CD-R/RW の種類によっては本機で再生できない場合があります。

SDロゴは商標です。

miniSD™はSDアソシエーションの商標です。

microSD™はSDアソシエーションの商標です。

SDカードの推奨品について

本機に使用する SD メモリーカードにつきましては、下記の商品を推奨します。

メーカー	種類	容量	品番
東芝	SD	128MB	SD − NA128MT
		256MB	SD − NA256MT
		512MB	SD − NA512MT
		1 GB	SD − NA001GT
		2 GB	SD − NA002GT
	miniSD	128MB	SD − S1283R
		256MB	MSD − N256MT
		512MB	MSD − N512MT
		1 GB	MSD − N001GT
		2 GB	MSD − N002GT
	microSD	256MB	SD − MC256MA
		512MB	SD − MC512MA
		1 GB	SD − MC001GA
		2 GB	SD − MC002GA

東芝コンシューママーケティング株式会社
ブリッジメディア商品部サポートセンター
電話：0570-010048
受付時間： 9:00 ～ 12:00 ／ 13:00 ～ 17:00
（土・日、祝祭日、年末年始等を除く）
URL:http://www.toshiba.co.jp/p-media

メーカー	種類	容量	品番
ハギワラシスコム	SD	128MB	HPC − SD128T
		256MB	HPC − SD256T
		512MB	HPC − SD512T4C
		1 GB	HPC − SD1GT4C
		2 GB	HPC − SD2GT4C
	miniSD	1 GB	HNT − MN1GMA
		2 GB	HNT − MN2GTA
	microSD	256MB	HNT − MR256T
		512MB	HNT − MR512T
		1 GB	HNT − MR1GT
		2 GB	HNT − MR2GT

株式会社　ハギワラ シスコム サポートセンター
電話：0120-307-456(フリーダイヤル）
受付時間： 10:00 ～ 12:00 ／ 13:00 ～ 17:00
（土・日、祝日を除く）
e-mail、FAX によるサポート
e-mail：support@hscjpn.co.jp
FAX:052-223-1328

☞つづく

ちょっとこれを！

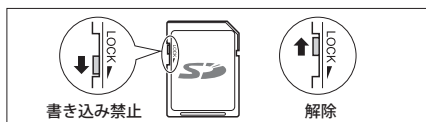
お客様のお使いのSDカードが推奨品以外のものである場合は、弊社では動作を保障することができませんので、あらかじめご了承ください。

SD カードの取り扱い

取り扱い上のお願い

必ず各機器およびSDカードに付属の取扱説明書をご覧ください。
本機にSDカードは付属していません。別途、市販品を購入してください。
SDカードの使用状況によっては、保存してある内容が失われる場合があります。保存してある内容が失われたことによる損害については、当社は一切その責任を負いませんので、ご了承ください。

SDカード（書き込み禁止スイッチ）について

SDカードには、データの書き込み禁止スイッチがあります。大切なデータを保護するときは「LOCK」にします。新たに録音・転送・編集・消去するときは解除してください。

録音・編集について

本機からSDカードへの録音フォーマットはMP3形式を採用しております。

■ 大切なデータを保護するために...

録音や編集を行っているときは、本機を振動させたり、SDカードを取り出したり、電源アダプターを抜いたりしないでください。SDカードのデータが破損し、カード自体が使えなくなることがあります。

再生について

本機で再生できるのはMP3、WMAおよびAAC形式です。
SDオーディオフォーマットで録音されたデータは再生できません。

MP3： ビットレート…………32 ～ 320kbps
　　　サンプリング周波数…8 ～ 48kHz
WMA：ビットレート…………48 ～ 192kbps（WMA9 準拠）
　　　サンプリング周波数…8 ～ 48kHz
AAC： ファイルフォーマット…………MPEG-4 AAC
　　　（iTunes ™ 4.1 ～ 7.3 で作成されたもの）
　　　ビットレート…………16 ～ 320kbps
　　　サンプリング周波数…11.025 ～ 48kHz

本機で使用できるＳＤカードについて

- 128MB ～ 2GB の SD メモリーカード、miniSD カード（miniSD アダプターが必要）、microSD カード（microSD アダプターが必要）が使えます。
  ご利用の際は、必ず SD カードに付属の取扱説明書を合わせてお読みください。
- SD カード・miniSD カード・microSD カードの初期化（フォーマット）は必ず本機でおこなってください。
  他の機器で初期化したカードは使用できないことがあります。
- SDHC（4GB 以上)、および 64MB 以下のカードは利用できません。
- SD カードの種類によって処理速度が遅くなる場合があります。
- 本機で認識できるのは5階層までのフォルダです。
- 著作権保護されたファイルの再生はできません
- マルチメディアカードは使用できません。
- 全ての SD カードの動作を保証するものではありません。

知っておいていただきたいこと

SDカードの記録可能時間目安

録音ビットレート / メモリ容量	MP3 HQ（192 kbps）	MP3 SP（128 kbps）	MP3 LP（96 kbps）
128 MB	約1時間20分	約2時間	約2時間40分
256 MB	約2時間40分	約4時間	約5時間20分
512 MB	約5時間20分	約8時間	約10時間40分
1 GB	約10時間40分	約16時間	約21時間20分
2 GB	約21時間20分	約32時間	約42時間40分

※録音ビットレートについては63ページ参照。

CD の取り扱い

取り扱い上のお願い

再生面にふれないように持ってください。

本機で使用できるディスクについて

CD（12cm、8cm）、CD-R、CD-RW、CD-EXTRAの 音 声部分が再生できます。

CDディスクのご注意

のマークが入ったディスクをご使用ください。

このマークが入っていないディスクは正しく再生できない場合があります。

再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや欠けのあるディスク、大きくそったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損、故障の原因になります。
円形以外の形をしたディスクは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。
夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

録音の前に

録音できる音源、録音できない音源

録音元＼録音先	SDカードに録音
SDカード	—
CD	◎
ラジオ	○
外部入力	○

◎：デジタル録音に対応しています。　○：アナログ録音となり、録音速度も等速に限ります。

SD カードに録音するときは

フォルダと曲ファイル

曲を録音するときは、毎回MUSICフォルダ内に自動的に新しいフォルダが作成され、そのフォルダ内に曲ファイルが記録されていきます。作成されたフォルダや曲ファイルには自動的に番号が付けられます。
詳しくは22ページ参照。

本機で扱えるフォルダと曲ファイルの数

■ 作成できるフォルダは最大 1000 です

SD カード内のフォルダ数が 1000 を越えて録音することはできません。

■ 録音できる曲ファイル数は、収録時間内で最大 2000 曲までです

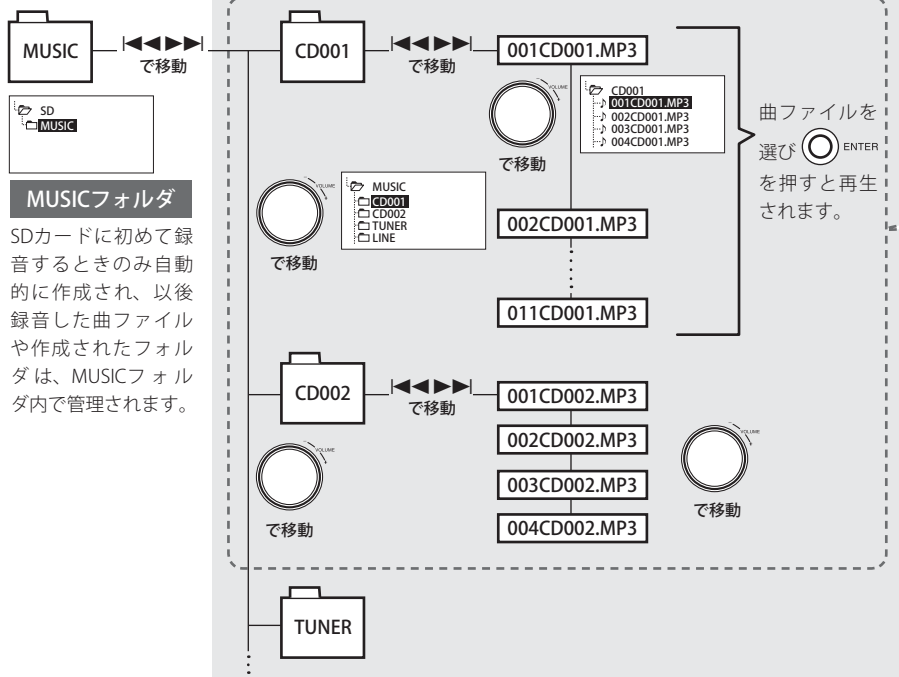
SD カードに録音時間が残っている場合でも、2000 曲以上は録音できません。

著作権について

- 放送や CD、レコード、その他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従って、それらから録音したものを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店の BGM など）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。
URL http://www.jasrac.or.jp/

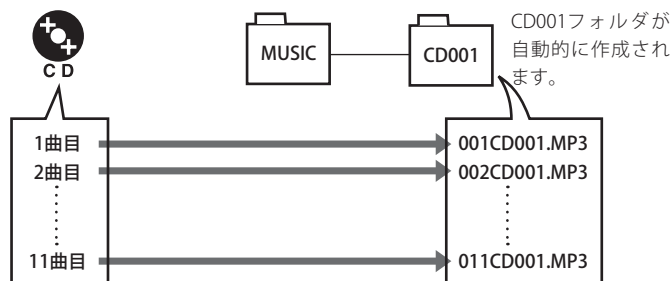
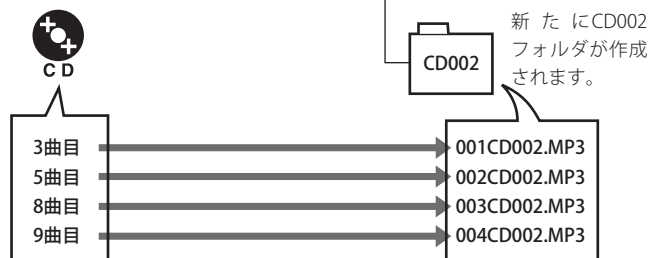
フォルダと曲ファイルについて

本機では、SDカードに録音された曲を**「曲ファイル」**という名称で扱います。
これら曲ファイルは**「フォルダ」**という名称の入れものの中に入ります。
フォルダは、SDカードに録音するごとに自動的に作成され、その中に録音された曲ファイルが入ります。

本機からSDカードへの録音フォーマットはMP3形式を採用しています。

録音された曲ファイル、曲ファイルを入れておくフォルダには、自動的に番号が付けられます。

- フォルダへ自動的に付けられる番号
  - CD から録音するとき：CD001、CD002...
  - ラジオから録音するとき：TUNER
  - 外部入力から録音するとき：LINE
- 曲ファイルへ自動的に付けられる番号
  - CD から録音するとき：001CD001.MP3、002CD001.MP3...
  - ラジオから録音するとき：001TUNER.MP3、002TUNER.MP3...
  - 外部入力から録音するとき：001LINE.MP3、002LINE.MP3...

ちょっとこれを！

MUSIC フォルダで扱うことができるフォルダと曲ファイルの数は
- **フォルダ ………………… 1000**
- **曲ファイル ……………… 2000**

本書の見方

操作の対象になる音源です。

本体に挿入したSDカードです。

CDです。

ラジオです。

外部入力です。

曲を消す

SD カードのみ

一度消した曲はもとに戻りません。本操作をおこなうときはご注意ください。

操作する前にしておく「準備」です。

※ 準備をしておかないと正しく操作できない場合があります。

※ 各機器の接続、SD カードや CD の挿入は「準備」に表記していません。詳しくは「接続のしかた」10 ページ～、「基本的な使い方」26 ページをご覧ください。

準備

SDカードを挿入します。

SDカードの再生が停止しているか確認してください。

SDカードの書き込み禁止スイッチを解除します。（19ページ参照）

リモコンで操作する場合に使うボタンです。

※ 表記していないページもあります。

1 音源を切り換える

2 MENU ボタンを押し［ファイル / フォルダ削除］を選び決定する

■ 途中でやめるには

MENU または

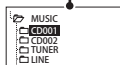
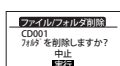
関連機能 曲をもっと録り貯めるには（SD カードの交換） P62 SD カード内のすべてのデータを消去する P70

50

操作手順です。

リモコンによる操作手順です。リモコンのボタンを押してください。

本体による操作手順です。本体のボタンを押す、またはVOLUMEつまみを回してください。

※ が両方表記されている操作手順は、リモコン、本体のどちらでも操作できます。

操作中または操作後のディスプレイ表示です。

本文で、ディスプレイに表示される文字情報と同じ文字を表記する場合は、[　　] と表記しています。

例）[エリアバンド] を選ぶ

※ この取扱説明書のディスプレイ表示は操作説明のために作成したものです。実際のディスプレイ表示とは異なる場合があります。

操作についての補足説明です。

上記操作に関連した項目や操作です。

さらに便利に使うための関連機能です。

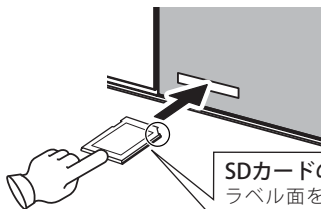
基本的な使い方

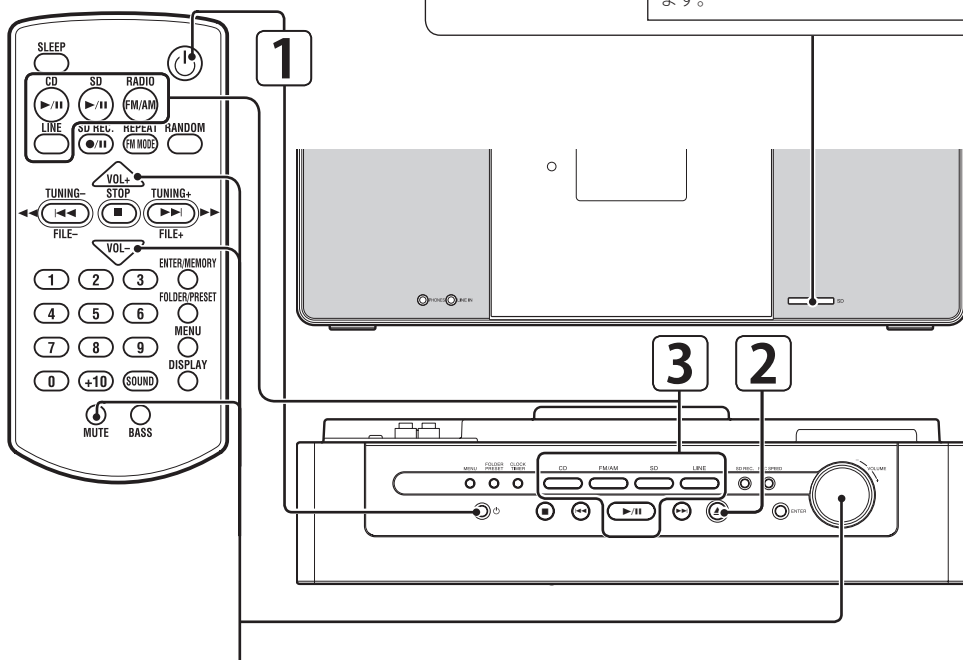
準備

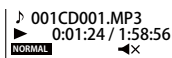
適切な場所に本機を設置してください。
（9ページ参照）

接続を確認してください。
（10 ～ 13ページ参照）

リモコンを準備してください。
（17ページ参照）

SDカードの入れ方

※ 必ず電源切の状態でおこなってください。
SD カードの交換は 62 ページ参照。

SDカードの向きに注意！
ラベル面を上にして、カットされた部分が右になるように入れます。
「カチッ」と音がするまで差し込みます。

音量を調整する

一時的に消音する

■ 解除するには

もう一度MUTEボタンを押す。
（もとの音量に戻ります）

音量の調整をする。

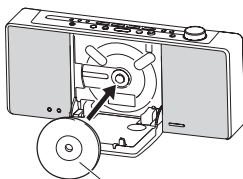
1 電源を入にする（切にする）

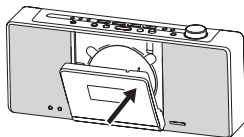
※ 本体のファンクションボタンや、リモコンの各音源の再生 / 一時停止ボタンを押しても、電源が入になります。

2 ディスクを入れる

2-1 ドアを開けます。

▲（CDドアオープン）ボタンを押します。

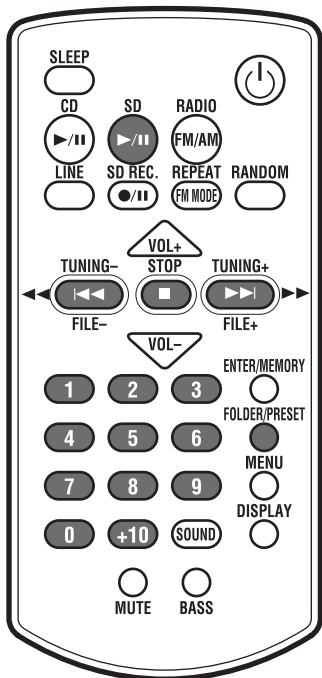
2-2 CD を入れます。

CDはレーベル面を手前にして入れます。
「カチッ」と音がするまで、はめ込んでください。

2-3 ドアの右上を押してドアを閉めます。

3 再生する

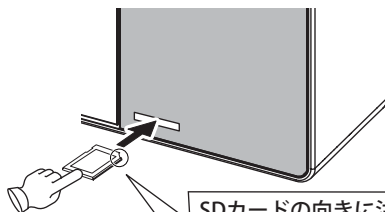
各音源の再生/一時停止ボタンを押します。

ファンクションボタンを押して音源を選んでから再生/一時停止ボタンを押します。

※詳しくは各音源ごとの再生ページをご覧ください。

曲を聞く

SD カードの曲を聞く

1 SD カードを入れる

※ 必ずスタンバイ状態時におこなってください。

■ 停止するには

■ 一時停止するには

もう一度押すと再開します。

もう一度押すと再開します。

関連機能 順不同に聞く（ランダム再生） P32 繰り返し聞く（リピート再生） P33

つづく

2 再生する

※曲ファイルにアーティスト名がなければフォルダ名が表示され、タイトル名がなければファイル名が表示されます。アーティスト名が無くタイトル名がある場合、アーティスト名は「--------」と表示されます。

※リモコンの**DISPLAY**ボタンを押すと、アーティスト/タイトル名とフォルダ/ファイル名が切り換わります。

※再生できるデータ形式については、19ページ参照。

■ フォルダを選ぶ場合は

FOLDER/PRESET

FOLDER PRESET

※フォルダと曲ファイルについては22ページ参照。

ちょっとこれを！

SDカードに曲ファイルが入っている場合は、SD ▶/II を押すだけで本機の電源が入になり、再生が始まります。

SDカードの再生では、前回停止した場所から再生を再開します。（リジューム再生）

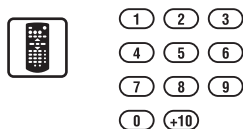
ファイル名が129文字(.MP3などの拡張子を含む)以上の曲ファイルは再生できません。ファイル名を128文字以下に変更してください。

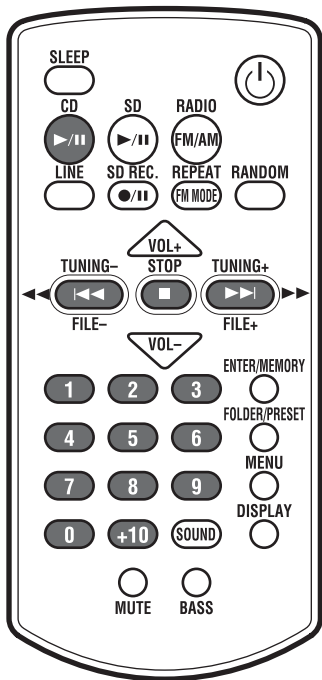
■ 曲を飛ばすには

■ 早送り / 早戻しするには

再生中に押し続けます。

再生中に押し続けます。

■ 好きな曲から聞くには

6曲目なら：6
12曲目なら：
・全曲数が99曲以下：+10 ▶1 ▶2
・全曲数が100曲以上 ：+10 ▶0 ▶1 ▶2
102曲目なら：+10 ▶1 ▶0 ▶2

※ 10を超える曲番のとき、最初に +10 を押します。

CD の曲を聞く

1 CD を入れる

1-1　ドアを開きます。

1-2　CD を入れます。

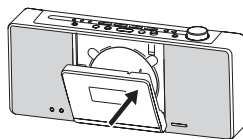
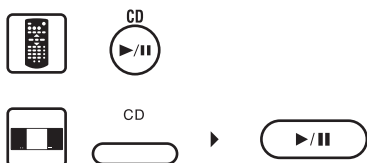
1-3　ドアの右上を押してドアを閉めます。

■ 停止するには

■ 一時停止するには

もう一度押すと再開します。

もう一度押すと再開します。

関連機能　順不同に聞く（ランダム再生） P32 ｜ 繰り返し聞く（リピート再生） P33

2 再生する

ちょっとこれを！

あらかじめディスクが入っている場合は、CD ▶/II を押すだけで本機の電源が入になり、再生が始まります。

■ 曲を飛ばすには

■ 早送り / 早戻しするには

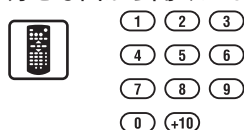
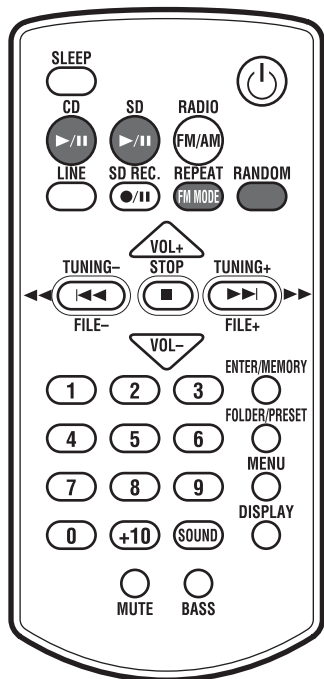
再生中に押し続けます。

再生中に押し続けます。

■ 好きな曲から聞くには

6曲目なら：6
12曲目なら：+10 ▶ 1 ▶ 2

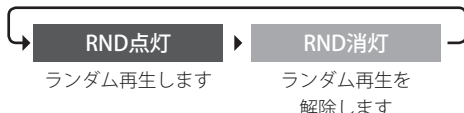
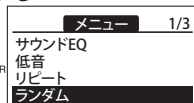
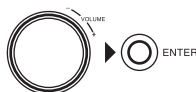
※ 10を超える曲番のとき、最初に +10 を押します。

好きな曲を好きな順序で聞く（プログラム再生） P34
低音を強調する P36
お好みの音質に切り換える P36

順不同に聞く（ランダム再生）/ 繰り返し聞く（リピート再生）

ランダム再生

1 ランダムモードにする

RANDOM
押すごとに
切り換わります。

RND点灯 ▶ RND消灯

ランダム再生します　ランダム再生を解除します

1-1 停止中に MENU ボタンを押し [ランダム] を選び決定する

1-2 [ON] を選び決定する

※おこなわない場合は[OFF]を選んでください。
※MENUボタンを押すと、もとの表示に戻ります。

■ ランダム再生モードを解除するには

RANDOM
ランダム再生中に再度
RANDOMボタンを押して、
[RND]を消灯させます。

2 再生する

SD ▶/II または CD ▶/II

SD ▶ ▶/II
CD ▶ ▶/II

ちょっとこれを！

ランダム再生中に REPEAT (FM MODE) ボタンを押すと、ランダム再生がひと通り終わってから、先ほどとは違う順番でランダム再生が始まります。

ランダム再生中は、再生済みの曲へ飛ばすことはできません。

関連機能 好きな曲を好きな順序で聞く P34

リピート再生

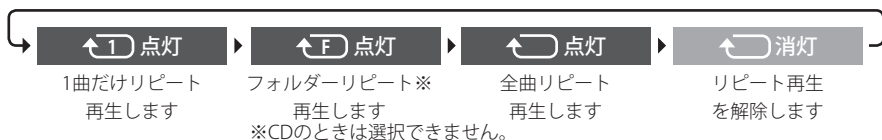
1 リピートモードを切り替える

REPEAT
FM MODE

押すごとに
切り換わります。

1 点灯 ▶ F 点灯 ▶ 点灯 ▶ 消灯

1 点灯	F 点灯	点灯	消灯
1曲だけリピート再生します	フォルダーリピート※再生します	全曲リピート再生します	リピート再生を解除します

※CDのときは選択できません。

1-1 停止中に MENU ボタンを押し [リピート] を選び決定する

1-2 お好みのリピート再生モードを選び決定する

※MENUボタンを押すと、もとの表示に戻ります。

■ リピート再生モードを解除するには

REPEAT
FM MODE

リピート再生中に再度REPEATボタンを押して
を消灯させます。

2 再生する

または

ちょっとこれを！

プログラム再生中に REPEAT FM MODE ボタンを押すと選んだ曲（1曲または全曲）を繰り返し再生します。

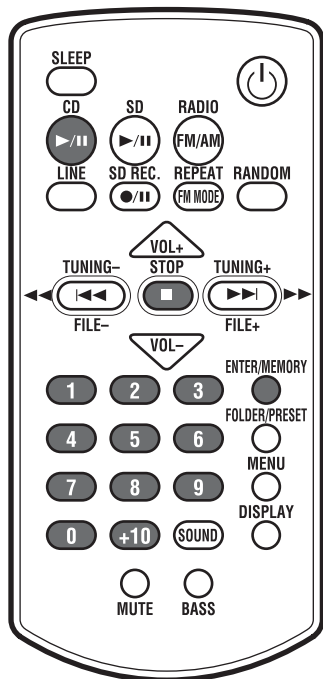
好きな曲を好きな順序で聞く（プログラム再生）

1 音源を切り換える

CD

CD

2 再生を停止する

STOP

3 MEMORY（ENTER）ボタンを押す

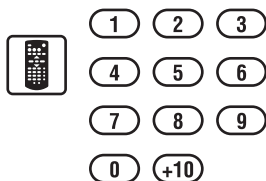
ENTER/MEMORY

ENTER

■ 曲を後から追加するには

再生している場合は停止してからMEMORY（ENTER）ボタンを押して、手順4の操作をおこないます。

関連機能　曲を聞く　P28~P31｜繰り返し聞く（リピート再生）P33

4 聞きたい曲を選ぶ

曲を選ぶ。

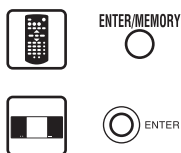
6曲目なら：6
12曲目なら：+10 ▶ 1 ▶ 2

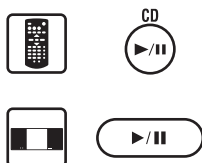
※ 10を超える曲番のとき、最初に(+10)を押します。

例）20曲目をプログラムの2曲目に選んだ場合。

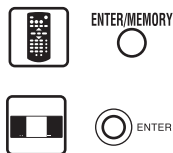
2曲以上選ぶときは**VOLUME**つまみでカーソルを動かします。

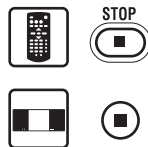
※20曲まで曲を選ぶことができます。

5 決定する

「PGM」アイコンが表示されます。

6 再生する

ちょっとこれを！

電源を切にしたり、CDを取り出すと設定したプログラム内容は消えます。

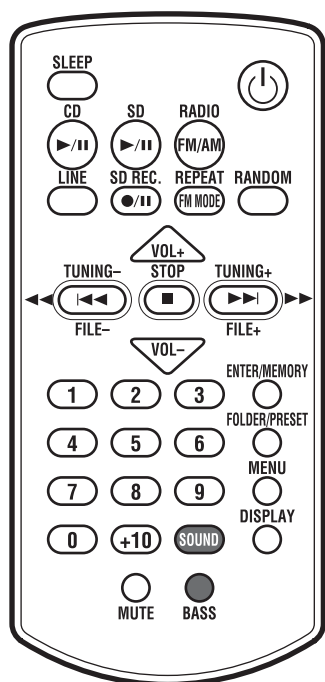
■ プログラムした曲を変更するには

再生を停止し、MEMORY（ENTER）ボタンを押して、変更したいプログラム番号をVOLUMEつまみで選び、手順4, 5の操作をおこないます。

■ プログラムモードを解除するには

再生を停止し、もう一度STOP■ボタンを押します。

消灯します

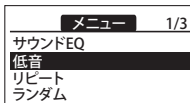
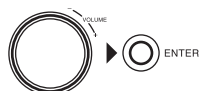
低音を強調する / お好みの音質に切り換える

音源によっては効果が分かりにくいことがあります。

低音を強調した音や、音質を変えた音を録音することはできません。

低音を強調する

押すごとに切り換わります。

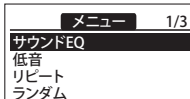
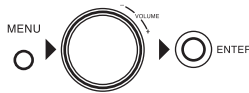
BASS点灯 ▶ BASS消灯

1-1 MENU ボタンを押し [低音] を選び決定する

1-2 お好みの低音を選び決定する

※MENUボタンを押すと、もとの表示に戻ります。

お好みの音質に切り換える

押すごとに切り換わります。

NORMAL ▶ POP ▶ ROCK ▶ JAZZ ▶ CLASSIC

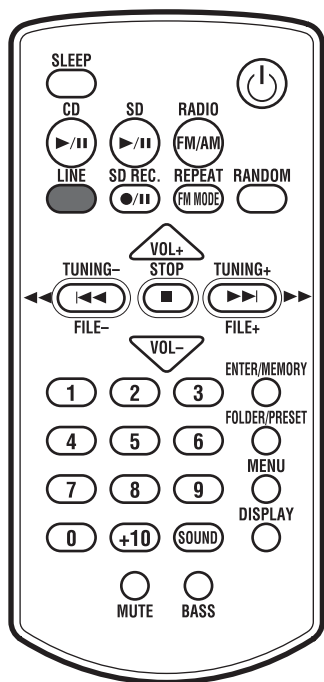
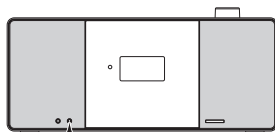
1-1 MENU ボタンを押し [サウンド EQ] を選び決定する

1-2 お好みの音質を選び決定する

※MENUボタンを押すと、もとの表示に戻ります。

NORMAL： 音質設定を無効にします。
POP： ボーカルの張りや、つやを強調します。
ROCK： ロックなど、重低音のある曲をメリハリよく楽しめます。
JAZZ： ジャズなど、高音域を鮮明に聞きたい場合に効果的です。
CLASSIC： クラシックなど、ゆったりとした音楽に効果的です。

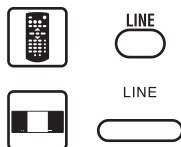
デジタルオーディオプレーヤーなどをつないで聞く

本機に接続したデジタルオーディオプレーヤーやMDプレーヤーなどの音声を、本機のスピーカーで楽しむことができます。

外部機器は電源を切った状態で接続してください。

1 LINE IN 端子に外部機器を接続する

※ 付属のオーディオケーブルで接続できないときは、市販の接続コードを接続する機器に合わせてご用意ください。

※ 接続する機器の取扱説明書も併せてご覧ください。

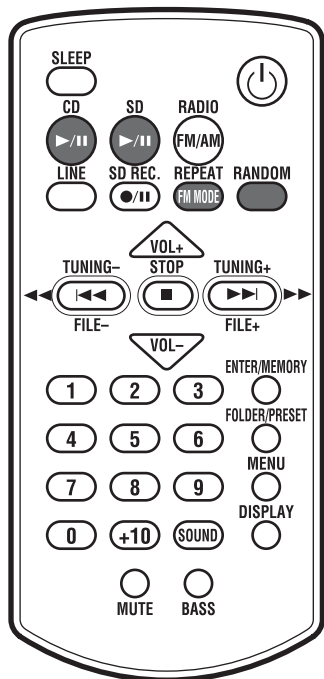
2 音源を LINE に切り換える

LINE

3 本機に接続した機器側（再生機器）で再生操作をする

ちょっとこれを！

音量は自動調整されませんので、本機および再生機器で調整してください。

関連機能 外部機器の音声を録音する P48

ラジオを聞く

1 FM または AM に切り換える

FM/AM

押すごとに
切り換わります。

■ 数字ボタンで放送局（プリセット番号）を選ぶには

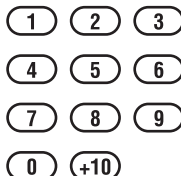
4 5 6

7 8 9

0 +10

P6なら：6
P12なら：+10 ▶1 ▶2

※ 10を超えるプリセット番号のとき、最初に +10 を押します。

関連機能 放送局を記憶させる P40~P43

2 放送局を選ぶ

記憶させてある放送局から選ぶ場合

FOLDER PRESET

FOLDER/PRESET

例）プリセット番号P01を
選択している場合。

記憶させてある放送局を、プリセット番号（P01 ～ P20）から選びます。

※放送局を記憶させる場合（オートプリセット/マニュアルプリセット）は
40 ～ 43ページ参照。

記憶させていない放送局を選ぶ場合（オート選局またはマニュアル選局）

放送局を選びます。

■ オート選局

ボタンを1秒以上押すと周波数が自動的に進み、放送局を受信すると止まります。お好みの放送局を受信するまで操作を繰り返してください。

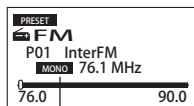
■ マニュアル選局

ボタンを押すごとにFMは0.1MHz、AMは9kHzずつ周波数が変わります。受信したい周波数になるまで操作を繰り返してください。

ちょっとこれを！

リモコンの RADIO FM/AM ボタンを押すだけで本機の電源が入になります。

■ FM モード（MONO/STEREO）を選ぶには

押すごとにMONO/STEREOが切り換わります。

※雑音が多い場合にMONO（モノラル）を選ぶと雑音が減って聞きやすくなります。

MONOを選ぶと点灯します

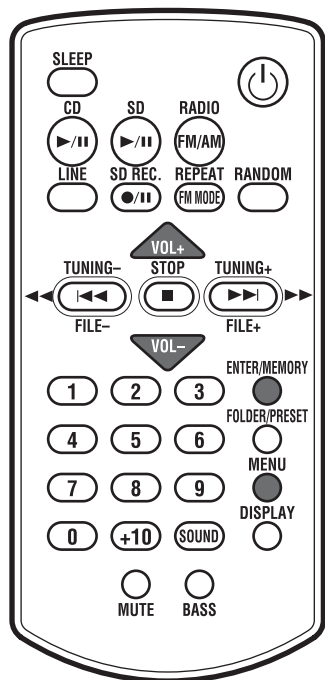
放送局を記憶させる

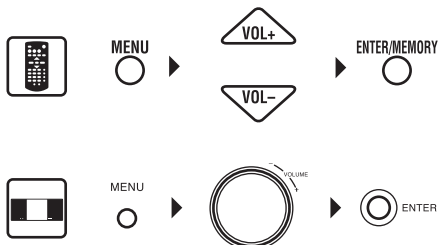
準備

FMまたはAMに切り換えてください。(38ページ参照)

※他の音源が選ばれていると、放送局を記憶させることができません。

※放送局はFM20局、AM20局まで記憶させることができます。

※放送局名は「放送局名自動表示リスト」に載っている放送局のみに対応しています。

放送局を自動で記憶させる（オートプリセット）

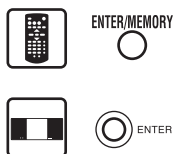
1 MENU ボタンを押し［エリアバンド］を選び決定する

2 お住まいのエリアを選ぶ

※工場出荷時は「東京」に設定されています。

※お住まいのエリアが変わった場合はもう一度記憶させてください。

3 放送局を記憶させる

ENTER/MEMORY

ENTER

※すでに記憶されている周波数も書き換えることができます。

※MENUボタンを押すと、もとの表示に戻ります。

関連機能 ラジオを聞く P38

☞つづく

■ 放送局名自動表示リスト

2008年2月現在
※放送局名は変更されることがあります。

札幌

AM

放送局名	周波数
NHK 第 1 札幌	567 kHz
NHK 第 2 札幌	747 kHz
HBC ラジオ	1,287 kHz
STV ラジオ	1,440 kHz

FM

放送局名	周波数
AIR-G'	80.4 MHz
NORTH WAVE	82.5 MHz
NHK FM 札幌	85.2 MHz

仙台

AM

放送局名	周波数
岩手放送	684 kHz
NHK 第 1 仙台	891 kHz
山形放送	918 kHz
秋田放送	936 kHz
NHK 第 2 仙台	1,089 kHz
青森放送	1,233 kHz
東北放送	1,260 kHz
ラジオ福島	1,458 kHz

FM

放送局名	周波数
FM IWATE	76.1 MHz
Date fm	77.1 MHz
FM 青森	80.0 MHz
BOY FM	80.4 MHz
ふくしま FM	81.8 MHz
NHK FM 仙台	82.5 MHz
FM 秋田	82.8 MHz

東京

AM

放送局名	周波数
NHK 第 1 東京	594 kHz
NHK 第 2 東京	693 kHz
山梨放送	765 kHz
TBS	954 kHz
文化放送	1,134 kHz
茨城放送	1,197 kHz
ニッポン放送	1,242 kHz
ラジオ日本	1,422 kHz
栃木放送	1,530 kHz

FM

放送局名	周波数
InterFM	76.1 MHz
RADIO BERRY	76.4 MHz
bayfm	78.0 MHz
NACK5	79.5 MHz
TOKYO FM	80.0 MHz
J-WAVE	81.3 MHz
NHK FM 東京	82.5 MHz
FM-FUJI	83.0 MHz
FM Yokohama	84.7 MHz
FM GUNMA	86.3 MHz

名古屋

AM

放送局名	周波数
NHK 第 1 名古屋	729 kHz
KNB ラジオ	738 kHz
FBC ラジオ	864 kHz
NHK 第 2 名古屋	909 kHz
CBC ラジオ	1,053 kHz
信越放送	1,098 kHz
北陸放送	1,107 kHz
新潟放送	1,116 kHz
東海ラジオ	1,332 kHz
SBS	1,404 kHz
岐阜放送	1,431 kHz

FM

放送局名	周波数
FMFUKUI	76.1 MHz
FM-NIIGATA	77.5 MHz
ZIP-FM	77.8 MHz
Radio3 FM 三重	78.9 MHz
FM PORT	79.0 MHz
K-MIX	79.2 MHz
RADIO-i	79.5 MHz
FM NAGANO	79.7 MHz
Radio 80	80.0 MHz
FM ISHIKAWA	80.5 MHz
FM AICHI	80.7 MHz
NHK FM 名古屋	82.5 MHz
FM とやま	82.7 MHz

ちょっとこれを！

放送局名自動表示リスト以外の放送局はマニュアルプリセット（43ページ参照）で記憶させてください。

放送局を記憶させる

2008年2月現在
※放送局名は変更されることがあります。

大阪

AM

放送局名	周波数
ラジオ関西	558 kHz
NHK 第 1 大阪	666 kHz
NHK 第 2 大阪	828 kHz
ABC	1,008 kHz
KBS 京都	1,143 kHz
毎日放送	1,179 kHz
ラジオ大阪	1,314 kHz
和歌山放送	1,431 kHz

FM

放送局名	周波数
FM CO･CO･LO	76.5 MHz
e-radio	77.0 MHz
FM802	80.2 MHz
NHK FM 京都	82.8 MHz
fm osaka	85.1 MHz
NHK FM 神戸	86.5 MHz
NHK FM 大阪	88.1 MHz
α -station	89.4 MHz
Kiss-FM	89.9 MHz

広島

AM

放送局名	周波数
NHK 第 2 広島	702 kHz
山口放送	765 kHz
高知放送	900 kHz
NHK 第 1 広島	1,071 kHz
南海放送	1,116 kHz
四国放送	1,269 kHz
RCC	1,350 kHz
BSS	1,431 kHz
西日本放送	1,449 kHz
RSK	1,494 kHz

FM

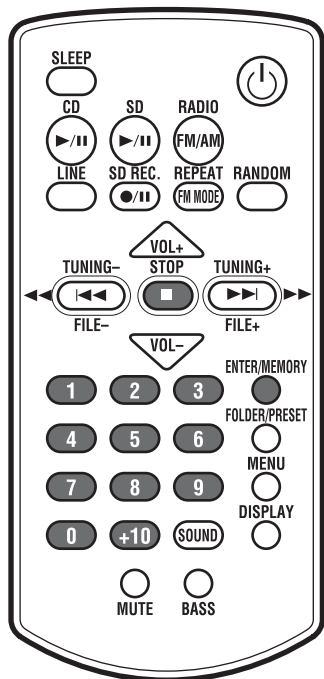
放送局名	周波数
FM 岡山	76.8 MHz
fm-sanin	77.4 MHz
広島 FM	78.2 MHz
FM 香川	78.6 MHz
FM 山口	79.2 MHz
FM 愛媛	79.7 MHz
FM 徳島	80.7 MHz
FM KOCHI	81.6 MHz
NHK FM 広島	88.3 MHz

福岡

AM

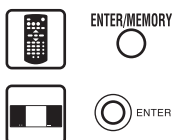
放送局名	周波数
NHK 第 1 福岡	612 kHz
琉球放送	738 kHz
ラジオ沖縄	864 kHz
宮崎放送	936 kHz
NHK 第 2 福岡	1,017 kHz
大分放送	1,098 kHz
南日本放送	1,107 kHz
熊本放送	1,197 kHz
長崎放送	1,233 kHz
RKB 毎日放送	1,278 kHz
九州朝日放送	1,413 kHz
NBC ラジオ佐賀	1,458 kHz

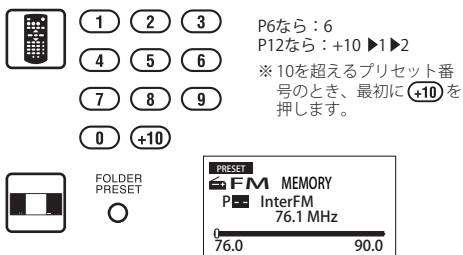
FM

放送局名	周波数
Love FM	76.1 MHz
フレンズ FM	76.2 MHz
FMK	77.4 MHz
FM 佐賀	77.9 MHz
CROSS FM	78.7 MHz
fmnagasaki	79.5 MHz
μ FM	79.8 MHz
fm fukuoka	80.7 MHz
JOY FM	83.2 MHz
NHK FM 福岡	84.8 MHz
FM Okinawa	87.3 MHz
FM 大分	88.0 MHz

放送局を手動で記憶させる(マニュアルプリセット)

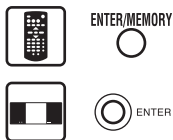
1 記憶させたい放送局を選ぶ

※オート選局またはマニュアル選局で放送局を選びます。(39ページ参照)

2 選んだら ENTER ボタンを押す

3 記憶させたいプリセット番号(P01 ～ P20)を選ぶ

P6なら：6
P12なら：+10 ▶1▶2
※ 10を超えるプリセット番号のとき、最初に +10 を押します。

[MEMORY]表示が点滅中に選びます。

※すでに放送局を記憶させてあるプリセット番号に重ねて記憶させると、新しい設定に変更されます。

4 放送局を記憶させる

※続けて記憶させたい場合は、手順1 ～ 4を繰り返してください。

■ 途中でやめるには

関連機能 ラジオを聞く P38

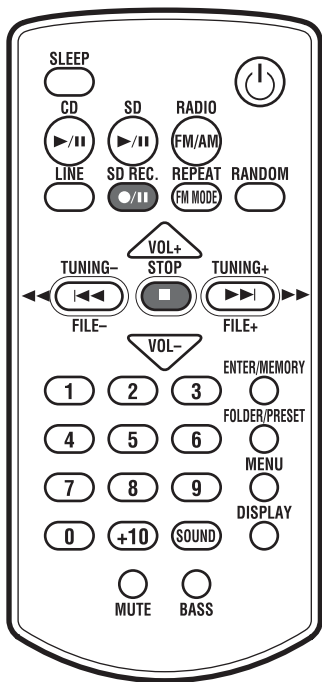
CD の曲を録音する

準備

SDカードを挿入します。

SDカード、CDの再生が停止しているか確認してください。

SDカードの書き込み禁止スイッチを解除します。（19ページ参照）

※録音の設定を変更するには63 ～ 67ページ参照。

全曲録音する

1 音源を CD に切り換える

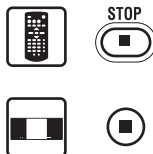
2 録音する

SD REC.

SD REC.

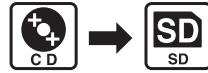
※本体のSD REC.ボタンが赤く点灯します。

■ 途中でやめるには

STOP

※一時停止するにはSD REC. ●/II ボタンを押してください。もう一度押すと再び録音が始まります。

■ 録音中の表示

録音されるファイル形式　MP3
録音ビットレート　HQ
録音スピード　HI
録音元（アイコン・ファンクション名・曲番号）　CD 4
録音経過時間　12:22
録音中
録音先（アイコン・ファンクション名・録音ファイル数）　SD 1
録音残時間　-17:18:48
ファイル名　♪ 001CD001.MP3

関連機能　好きな曲を好きな順序で聞く P34　曲を消す P50

好きな曲を好きな順番で録音する

1 録音したい曲を選ぶ

好きな曲を好きな順番で選びます。
（34、35ページ 手順1～5参照）

2 録音する

SD REC.
●/II

SD REC.

※本体のSD REC.ボタンが赤く点灯します。

■ 途中でやめるには

※一時停止するにはSD REC. ●/II ボタンを押してください。もう一度押すと再び録音が始まります。

■ 録音中SDカードがいっぱいになると

容量が一杯です
録音できません

［容量が一杯です録音できません］と表示されます。録音し直す場合は、不要な曲を削除してください。（50ページ参照）

■ こんなときは

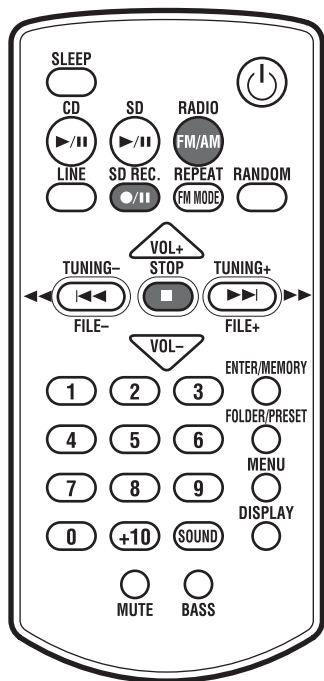
短時間で録音したい： 64ページ参照
（録音スピードを設定する）
録音品質を変えたい：63ページ参照
（録音ビットレートを設定する）
フォルダ、曲ファイルを消去したい：50ページ参照

ラジオ (FM または AM) を録音する

準備

SDカードを挿入します。

Dカードの再生が停止しているか確認してください。

SDカードの書き込み禁止スイッチを解除します。（19ページ参照）

1 FM または AM に切り換える

FM/AM

押すごとに
切り換わります。

2 録音の準備をする

選局します。（38ページ参照）

■ 停止するには

■ 一時停止するには

SD REC.

※再び録音を始める場合は、もう一度押します。

関連機能　ラジオを聞く P38 ｜ 放送局を記憶させる P40~P43

3 録音を始める

SD REC.
●/II

SD REC.

※本体のSD REC.ボタンが赤く点灯します。

ＡＭ放送録音時のノイズを軽減するために（ビートキャンセル）

ラジオを録音するときのビートノイズを軽減するために、録音サンプリング周波数を切り換えます。（44.1 kHz / 32 kHz）

手順３の録音状態でノイズが大きくなったときは

本体の ■ ボタンを押しながら CLOCK TIMER ボタンを押す

※ 押すごとに「BC-1」「BC-2」がディスプレイに表示されます。ノイズの少なくなったほうで録音を始めてください。

ちょっとこれを！

ラジオを録音するときは、録音スピードを[HI]にすることはできません。（64ページ参照）

録音ビットレートは[MP3 S P]に固定されます。（63ページ参照）

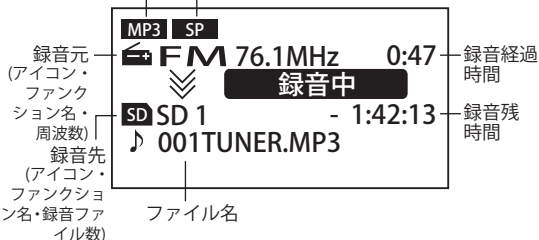
録音中にFMモード(MONO/STEREO)を切り替えることができます。（39ページ参照）

BC-2（32 kHz）で録音したファイルは、オーディオプレーヤーによっては再生できないことがあります。

録音中または録音一時停止中に本体のENTER（リモコンではENTER/MEMORY）ボタンを押すと、その地点までの録音ファイルが作られます。その後は、新たな録音ファイルが作成されますので、任意の場所でファイル分割するのに便利です。

受信環境によっては、録音中、ラジオ放送にノイズが入る場合があります。
また、電波の弱い場所では耳でラジオ放送を聞いている時はきれいに聞こえていても、録音するとノイズを拾ってしまうことがあるため、実際に試し録音をおこない、もし電波が弱くノイズが入るようであれば、場所を移動するなどしてきれいに録音できる場所で録音してください。

■ 録音中の表示

■ 録音中 SD カードが いっぱいになると

容量が一杯です
録音できません

［容量が一杯です録音できません］と表示されます。録音し直す場合は、不要な曲を削除してください。（50ページ参照）

外部機器の音声を録音する

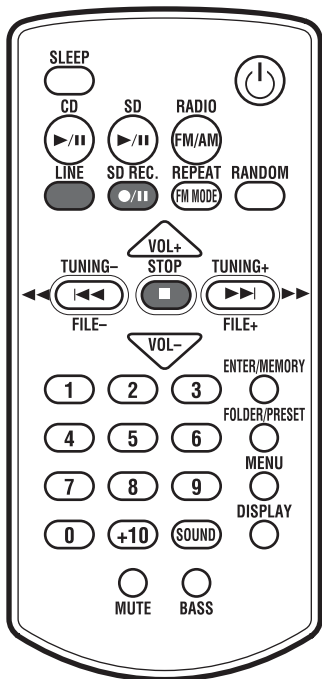
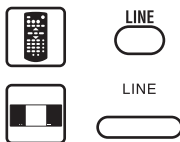
準備

外部機器をLINE IN端子に接続してください。（12ページ参照）

SDカードを挿入します。

SDカードの再生が停止しているか確認してください。

SDカードの書き込み禁止スイッチを解除します。（19ページ参照）

※録音の設定を変更するには63 ～ 67ページ参照。

1 音源を LINE に切り換える

LINE

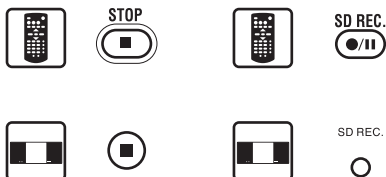
2 録音の準備をする

外部機器で録音を開始したい位置を頭出ししておきます。

■ 停止するには

■ 一時停止するには

※再び録音を始める場合は、もう一度押します。

関連機能 外部機器の音声を聞く P37 曲を消す P50

3 録音を始める

SD REC.
SD REC.
※本体のSD REC.ボタンが赤く点灯します。

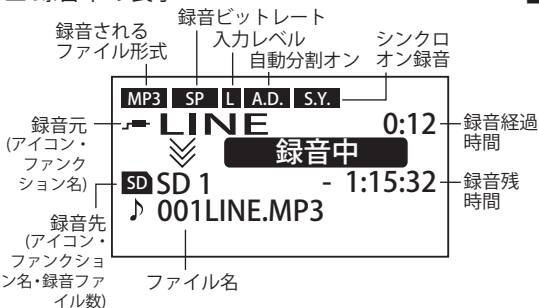
■ LINE IN端子に外部機器が接続されていないときは、「LINEケーブルを接続してください」と表示されます。
■ シンクロ録音機能（66ページ参照）がONになっているときは、SD REC.ボタンを押すと録音待機状態になります。

4 本機に接続した機器側（再生機器）で再生操作をする

ちょっとこれを！

外部機器の音声を録音するときは、録音スピードを[HI]にすることはできません。（64ページ参照）

シンクロ録音機能がONのとき、10秒間音楽信号が入力されないと、録音を終了します。

録音中または録音一時停止中に本体のENTER（リモコンではENTER/MEMORY）ボタンを押すと、その地点までの録音ファイルが作られます。その後は、新たな録音ファイルが作成されますので、任意の場所でファイル分割するのに便利です。 ただし、自動分割が設定されている場合は操作できません。

［容量が一杯です録音できません］と表示されます。録音し直す場合は、不要な曲を削除してください。
（50ページ参照）

ディスプレイ表示切り換え P60
録音の設定をする P63~P67

曲を消す

SD カードのみ

一度消した曲はもとに戻りません。本操作をおこなうときはご注意ください。

準備

SDカードを挿入します。

SDカードの再生が停止しているか確認してください。

SDカードの書き込み禁止スイッチを解除します。（19ページ参照）

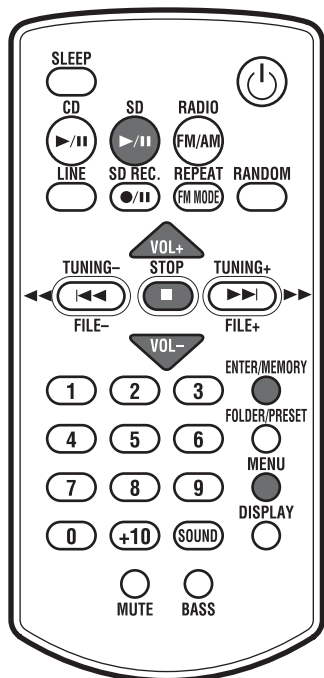
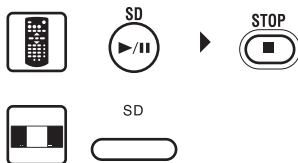
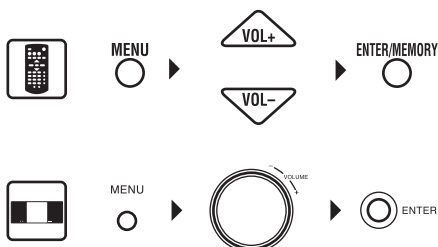
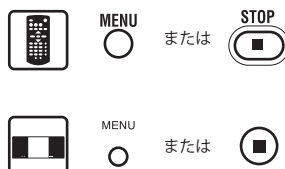
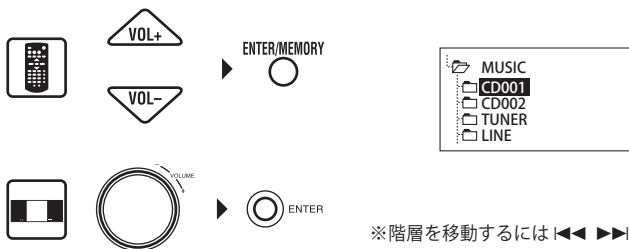
1 音源を切り換える

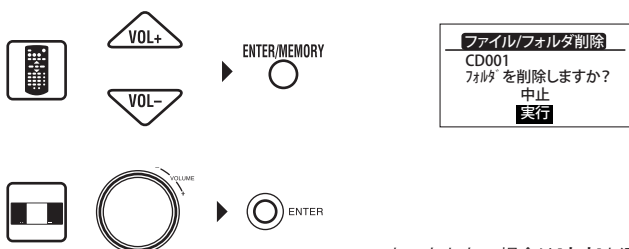
2 MENU ボタンを押し［ファイル/フォルダ削除］を選び決定する

メニュー 2/3
ファイル/フォルダ削除
ファイル分割
液晶 コントラスト
AUTO POWER SAVE

■ 途中でやめるには

MENU または

関連機能 曲をもっと録り貯めるには（SD カードの交換） P62 | SD カード内のすべてのデータを消去する P70

3 消したい曲ファイルまたはフォルダを選ぶ

※階層を移動するには ⏮ ⏭ ボタンを押します。
フォルダと曲ファイルについては22ページ参照。

4 [実行] を選び決定する

※おこなわない場合は[**中止**]を選んでください。

※MENUボタンを押すと、もとの表示に戻ります。

ちょっとこれを！

フォルダ内に曲ファイル以外のファイルがある場合に、フォルダを選択して消す操作をおこなうと、フォルダと曲ファイル以外のデータを残して曲ファイルだけ消されます。
本機ではSDフォーマットをしないと曲ファイル以外のファイルを消すことはできません。(70ページ参照)

フォルダー内のファイルが多いと、フォルダーの削除に時間がかかります。

曲を分ける

SD カードのみ

現在再生している曲を任意の場所で分割します。特に聞きたいところで分割しておくと、スキップできるので便利です。

本機で録音した曲ファイル（MUSICフォルダに入っています）のみ曲を分けることができます。MUSICフォルダについては22ページ参照。

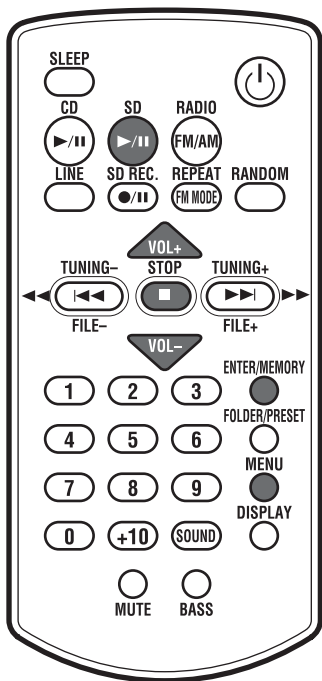
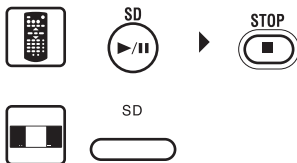
準備

SDカードを挿入します。

SDカードの再生が停止しているか確認してください。

SDカードの書き込み禁止スイッチを解除します。（19ページ参照）

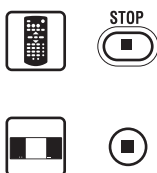
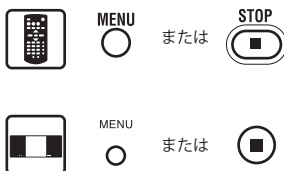
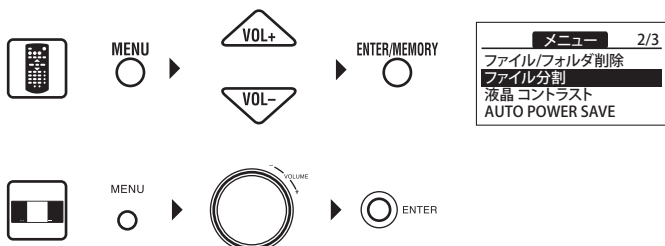
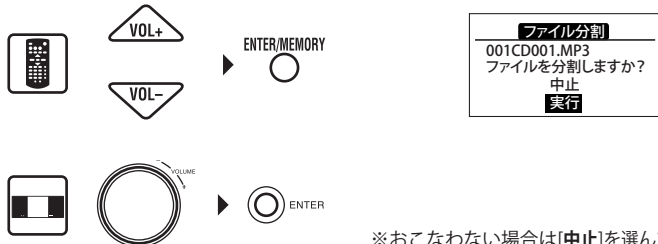
1 音源を切り換える

SD

2 曲を再生し、分けたいポイントで停止する

■ 途中でやめるには

または
MENU

または

関連機能 曲をもっと録り貯めるには（SD カードの交換） P62 | SD カード内のすべてのデータを消去する P70

3 MENU ボタンを押し［ファイル分割］を選び決定する

4 [実行] を選び決定する

※おこなわない場合は[**中止**]を選んでください。

※MENUボタンを押すと、もとの表示に戻ります。

ちょっとこれを！

本機で録音した曲ファイルのみ分割することができます。

分けた曲から後ろの曲は、トラック番号が自動的に調整されます。

分けた曲にはファイル名の最後に「_A」「_B」が追加されます。ただしファイル名が30文字を超えると曲を分割できません。

タイマーを使う

5種類のタイマーを同時に設定できます。

それぞれのタイマーの作動する時間が重ならないように、1分以上の間を空けて設定してください。

1回当りのタイマー設定可能時間は、最大5時間です。

準備

時計を合わせておいてください。
（15ページ参照）

SDカード、CDの再生が停止しているか確認してください。

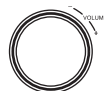
音量を調整しておいてください（あらかじめ設定しておいた音量でタイマー動作します）。

ラジオを聞く、または録音する場合は、放送局をプリセットしておいてください。（40ページ～参照）

1 CLOCK TIMER ボタンを 2 回押す

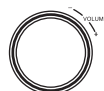
CLOCK
TIMER

タイマー設定　1/2
○1 PLAY AM12:00～AM12:00
○2 PLAY AM12:00～AM12:00
○3 PLAY AM12:00～AM12:00

2 タイマー番号（1 ～ 5）を選び決定する

※選んだタイマー番号の設定画面になります。

3 タイマーが作動するまたはしないを設定する

3-1 ［設定］を選び決定する

3-2 ［ON］または［OFF］を選び決定する

※タイマーを作動させない場合は[OFF]を選びます。

関連機能　時計を合わせる　P15

■途中でやめるには

※それまでに変更した内容は反映されません。

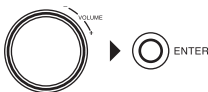
4 曜日を選ぶ

4-1 ［曜日］を選び決定する

4-2 お好みの曜日を選び決定する

5 時間を設定する

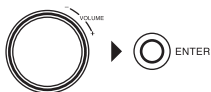
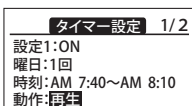
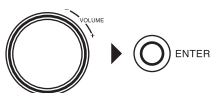
5-1 ［時刻］を選び決定する

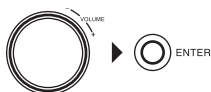
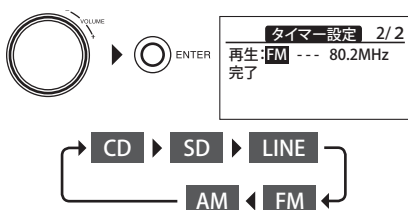
5-2 開始時間（時、分）を設定する

5-3 終了時間（時、分）を設定する

6 予約内容を設定する

6-1 ［動作］を選び決定する

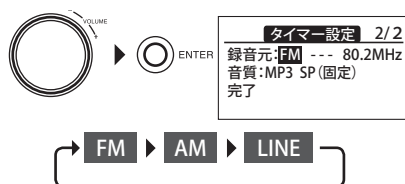
6-2 ［録音］または［再生］を選び決定する

タイマー設定 1/2
設定1：ON
曜日：1回
時刻：AM 7:40～AM 8:10
動作：再生

再生のとき

6-3 ［再生］を選び決定する

6-4 お好みの音源を選び決定する

6-5 放送局を選び決定する
（FM または AM を選んだときのみ）

録音のとき

6-3 [録音元] を選び決定する

6-4 録音元の音源を選び決定する

6-5 録音したい放送局を選び決定する
（FM または AM を選んだときのみ）

6-6 [音質] を選び決定する
（LINE を選んだときのみ）

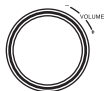
関連機能 ラジオを聞く P38 ｜ 放送局を記憶させる P40~P43 ｜ 録音の設定をする P63~P67

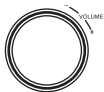
■ 途中でやめるには

つづく

※それまでに変更した内容は反映されません。

録音のとき（つづき）

6-7 お好みの音質を選び決定する
（LINE を選んだときのみ）

※録音ビットレートについては63ページ参照
※ラジオを録音するときの音質は[MP3 SP（固定）]となります。

7［完了］を選び決定する

8 電源を OFF にする

ちょっとこれを！

音源が［SD］のとき、電源を切にする前に聞きたい曲を選んでおくと、その曲の頭からタイマー再生が始まります。

タイマー録音のときは、録音開始時間の2分前に電源が入になり、録音一時停止状態になります。

タイマー再生する曲ファイルの総時間がタイマー設定時間よりも短い場合、タイマー終了時間より前に電源がオフになることがあります。

タイマー動作中は、⏻（電源）ボタンとVOLUMEつまみのみ操作できます。

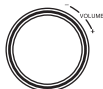
タイマーを使う

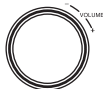
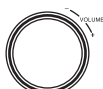
■ タイマーを解除するには

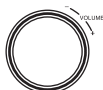
1 CLOCK TIMER ボタンを 2 回押す

CLOCK
TIMER

タイマー設定 1/2
○1 PLAY AM12:00～AM12:00
○2 PLAY AM12:00～AM12:00
○3 PLAY AM12:00～AM12:00

2 解除したいタイマー番号（1 ～ 5）を選び決定する

タイマー設定 1/2
設定1：OFF
曜日：1回
時刻：AM12:00～AM12:00
動作：再生

3 ［設定］を選び決定する

4 ［OFF］を選び決定する

タイマー設定 1/2
設定1：OFF
曜日：1回
時刻：AM 7:40～AM 8:10
動作：再生

5 ［完了］を選び決定する

タイマー設定 2/2
再生：FM P01 76.5MHz
完了

※ CLOCK TIMER ボタンを押すと、もとの表示に戻ります。

■ タイマーの設定内容を確認するには

CLOCK
TIMER

CLOCK TIMERボタンを2回押す

※設定内容を修正したいときは、VOLUMEつまみでタイマー番号を選び決定します。54ページ手順3から、タイマー設定をし直すことができます。

（例）午前7時40分から午前8時10分までプリセットチャンネル01の放送局を1回タイマー再生する

タイマー設定 1/2
設定1：ON
曜日：1回
時刻：AM 7:40～AM 8:10
動作：再生

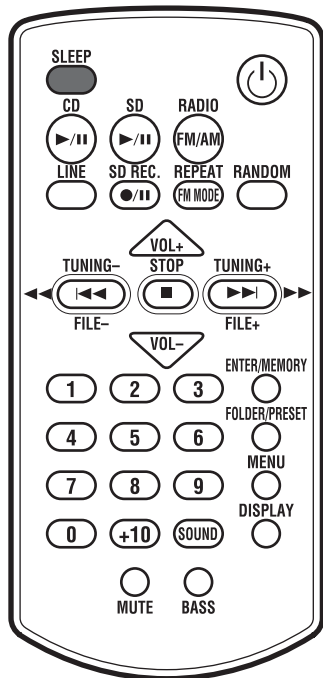
タイマー設定 2/2
再生：FM P01 76.5MHz
完了

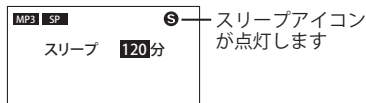
（例）毎週月曜日午後11時から午後11時30分までプリセットチャンネル01の放送局をタイマー録音する

タイマー設定 1/2
設定1：ON
曜日：月
時刻：PM 11:00～PM11:30
動作：録音

タイマー設定 2/2
録音元：FM P01 76.5MHz
音質：MP3 SP（固定）
完了

おやすみタイマーを設定する

設定した時間が過ぎると、自動的に電源が切になります。

1 SLEEP ボタンを押し時間を設定する

SLEEP 押すごとに切り換わります。

スリープアイコンが点灯します

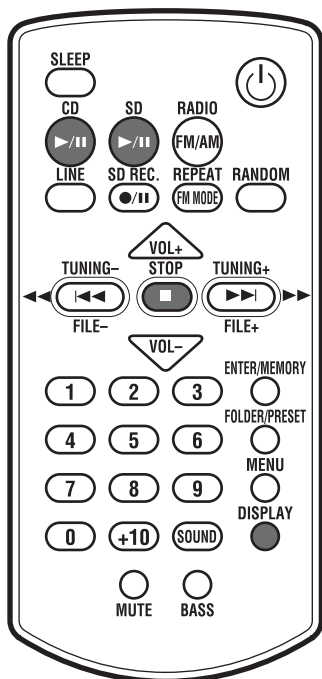
※押すごとに10分ずつ減ります。
※［OFF］を選ぶと解除できます。

■ おやすみタイマーを解除、または再設定するには

※電源を切にする、または「おやすみタイマー」設定で「OFF」を選びます。

関連機能 タイマーを使う P54~P58

ディスプレイ表示切り換え

※表示できる時間は999時間59分59秒までです。それを越えると「Over 1000 h」と表示されます。

録音残時間を表示する

1 音源を CD または LINE に切り換える

CD　または　LINE

2 再生を停止する

3 DISPLAY ボタンを押す

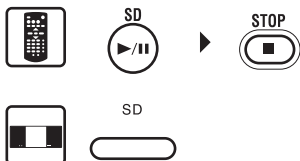
DISPLAY

ちょっとこれを！

SDカードが挿入されていない場合［未挿入です］と表示されます。

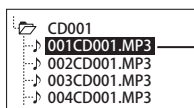
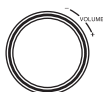
関連機能　曲を聞く　P28~P31

楽曲情報を表示する

1 音源を SD に切り換える

2 情報表示したい曲ファイルを選ぶ

2-1 停止中に FOLDER PRESET ボタンを 2 秒以上押す

※フォルダと曲ファイルについては
22ページ参照。

2-2 曲ファイルを選ぶ

3 表示ボタンを押す

※タイトル、ファイル名が長い場合は
スクロール表示されます。

もっと使いこなす
ディスプレイ表示切り換え

曲をもっと録り貯めるには（SD カードの交換）

準備

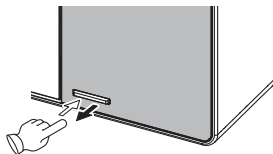
SDカードの交換は電源切の状態でおこなってください。

※128MB ～ 2GBまでのSDカードが使用できます。SDHC（4GB以上）は使えません。

※記録前に、本機でフォーマットすることをお勧めします。（70ページ参照）

SDカード、miniSD™ カード、microSD™カードが使えます。

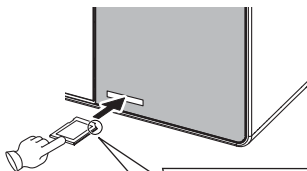
※miniSD™カード、microSD™カードの場合は専用アダプターが必要です。

1 SD カードを取り出す

SDカードを「カチッ」と音がするまで押し込んでください。指を放すとSDカードが取り出せます

2 交換用の SD カードを入れる

SDカードの向きに注意！

ラベル面を上にして、カットされた部分が右になるように入れます。「カチッ」と音がするまで差し込みます。

関連機能 SD カード内のすべてのデータを消去する P70

録音の設定をする

つづく

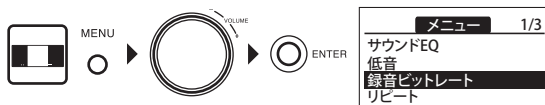
本機には多彩な録音機能がありますが、それぞれの録音について詳細な機能を設定することができます。

より使いやすく、お好みに合わせて、各項目を設定することをお勧めします。

録音ビットレートを設定する

SDカードに録音する場合、音質や録音できる長さを設定することができます。

1 録音したい音源に切り換える（CD、LINE）

2 MENU ボタンを押し［録音ビットレート］を選び決定する

3 お好みのモードを選ぶ

[MP3 HQ]を選んだ場合

高音質で録音します。[SP][LP]にくらべて、録音可能時間が短くなります。（ビットレート：192kbps）

[MP3 SP]を選んだ場合

標準的な音質で録音します。[LP]にくらべて、録音可能時間が短くなります。（ビットレート：128kbps）

[MP3 LP]を選んだ場合

録音可能時間がもっとも長くなります。（ビットレート：96kbps）

4 決定する

※MENUボタンを押すと、もとの表示に戻ります。

ちょっとこれを！

ラジオを録音する場合は［SP］に固定されます。

関連機能
CD の曲を録音する P44~P45
外部機器の音声を録音する P48~P49

録音スピードを設定する

CDをSDカードに録音する場合の録音スピードを設定することができます。

1 CD が停止中に REC SPEED ボタンを押して、録音スピードを選ぶ

※ [Hi] を選ぶとディスプレイの**Hi**表示が点灯し、本体のREC SPEEDボタンが赤く点灯します。

ちょっとこれを！

HIGH SPEEDで録音している場合、音は出ません。

転送速度が遅いSDカードを使った場合、HIGH SPEED録音ができないことがあります。その場合は等倍速で録音してください。

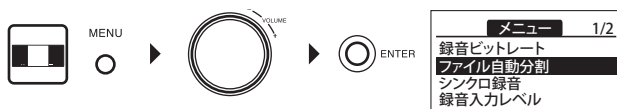
関連機能 CD の曲を録音する P44~P45

☞つづく

録音されたファイルを自動分割するか設定する

外部機器の音声を録音中に、無音状態が指定秒数続いたときに録音を停止しその位置から新しく録音を開始します。

1 音源を LINE に切り換える

2 MENU ボタンを押し［ファイル自動分割］を選び決定する

3 間隔を設定し決定する

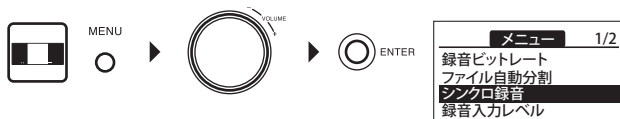
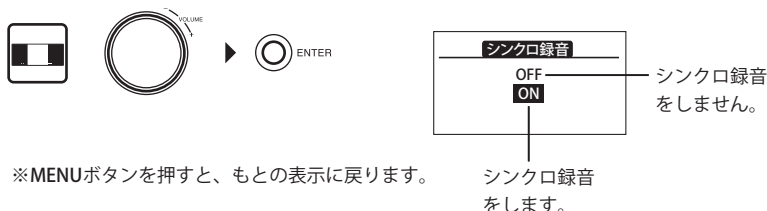
※MENUボタンを押すと、もとの表示に戻ります。

関連機能 外部機器の音声を録音する P48~P49

シンクロ録音するかを設定する

外部機器の音声を録音する場合、シンクロ録音（外部機器を再生したときに、録音も同時に開始）するかを設定することができます。

1 音源を LINE に切り換える

2 MENU ボタンを押し［シンクロ録音］を選び決定する

3 シンクロ録音するかを選び決定する

※MENUボタンを押すと、もとの表示に戻ります。

ちょっとこれを！

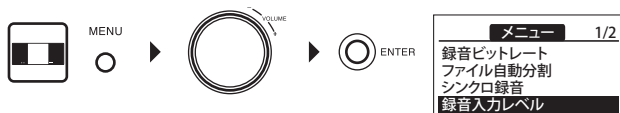
入力レベルが小さいと、シンクロ録音ができない場合があります。その場合は次ページ「録音レベルを調整する」にて録音入力レベルを［**HIGH**］に設定する、または外部機器のボリュームを大きくする等、入力レベルの調整をしてください。
シンクロ録音で録音開始後10秒間入力が無い場合は録音待機を終了します。また、録音中に入力が中断すると10秒後に録音を終了します。

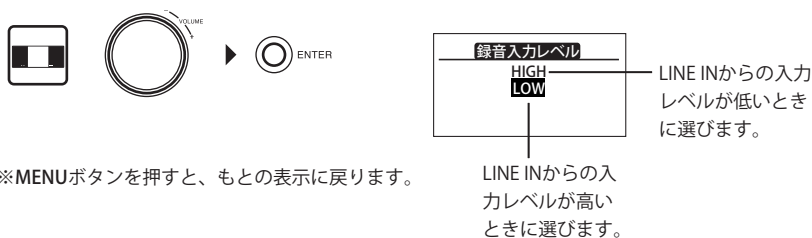
関連機能 外部機器の音声を録音する P48~P49

録音入力レベルを調整する

外部機器の音声を録音する場合、音が歪む、または小さいと感じたときは録音入力レベルを調整してください。

1 音源を LINE に切り換える

2 MENU ボタンを押し［録音入力レベル］を選び決定する

3 ［HIGH］または［LOW］を選び決定する

LINE INからの入力レベルが高いときに選びます。

※MENUボタンを押すと、もとの表示に戻ります。

ディスプレイのコントラストを調整する

ディスプレイのコントラストを10段階で調整できます。お好みやお部屋の状態によって調整してください。

1 MENU ボタンを押し［液晶コントラスト］を選び決定する

2 お好みのコントラストを選ぶ

※1〜10までの10段階から選べます。

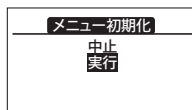
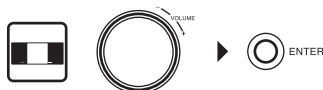
3 決定する

※MENUボタンを押すと、もとの表示に戻ります。

メニューを初期化する

メニューの各項目を工場出荷時の状態に戻します。

1 MENU ボタンを押し［モード初期化］を選び決定する

2［実行］を選び決定する

※おこなわない場合は[中止]を選んでください。
※MENUボタンを押すと、もとの表示に戻ります。

SD カード内のすべてのデータを消去する

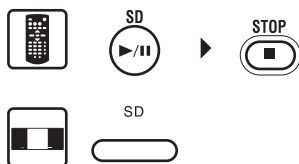
実行すると、本機で録音、作成したフォルダや曲ファイルだけでなく、SDカード内のすべてのデータを消去します。

SDカードの書き込み禁止スイッチを解除します。（19ページ参照）

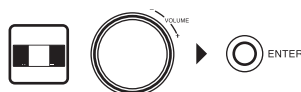
※消去したデータをもとに戻すことはできません。ご注意ください。

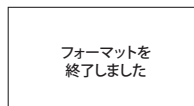
ご注意
データの消去中は、絶対にSDカードを抜かないでください。故障の原因となります。

1 音源を SD に切り換える

SD

2 MENU ボタンを押し［SD フォーマット］を選び決定する

MENU

3 [実行] を選び決定する

※おこなわない場合は[中止]を選んでください。
※MENUボタンを押すと、もとの表示に戻ります。

■ 消去が終了すると

フォーマットを
終了しました

ちょっとこれを！

本機でSDフォーマットしたSDカードは、他の機器で使えないことがあります。
SDカードの種類によっては、SDフォーマットに時間がかかる場合があります。

関連機能 曲をもっと録り貯めるには（SD カードの交換） P62

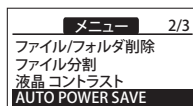
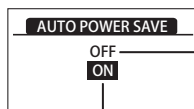
オートパワーセーブ機能を設定する

SD、CDファンクションの停止状態で、15分以上何も操作しなかった場合、自動的に電源が切になる機能です。

1 音源を SD または CD に切り換える

SD または CD

2 MENU ボタンを押し [AUTO POWER SAVE] を選び決定する

メニュー 2/3
ファイル/フォルダ削除
ファイル分割
液晶 コントラスト
AUTO POWER SAVE

3 [OFF] または [ON] を選び決定する

AUTO POWER SAVE
OFF — オートパワーセーブ機能が働きません。
ON — オートパワーセーブ機能が働きます。

※MENUボタンを押すと、もとの表示に戻ります。

メッセージ表示一覧

ディスプレイ表示	意　味
No（1,2,3,4,5） の設定時間が 重なっています	• 設定した日時が、他のタイマー番号の設定と重なっている。
SDカードが 書き込み禁止に なっています	• SDカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」になっている。
SDカードを 挿入してください	• SDカードが入っていない。 • SDカードが正しく挿入されていない。
再生に失敗しました	• 著作権保護付きのファイルを再生しようとしている。
タイマー設定が 実行されませんでした	• タイマー設定後、電源が入のままだった。 →タイマー設定後、電源を切にする。
ファイルが ありません	• 本機で再生できるファイル（MP3、WMA、AAC）がない。
ファイル数が 一杯です	• ファイル数が2000に達している。
ファイル分割は これ以上できません	• ファイルサイズが小さいため分割できない。 • ファイル名が30文字を超えている。
フォルダ数が 一杯です	• フォルダ数が1000に達している。
容量が 一杯です 録音できません	• 録音開始時、SDカードに録音可能な空き容量がない。
読み込み中 …	• メディアのフォルダ/ファイルの状況を読み込んでいる。
録音最大時間です 録音を終了します	• 録音時間が5時間に達している。
録音設定時間は 5時間以上に 設定できません	• タイマー設定で、録音開始時間と録音終了時間の差が5時間以上である。

故障かな？と思ったら

つづく

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に、症状にあわせて一度チェックしてみてください。

アンプ部・スピーカー部

症　状	処　置	参照ページ
音が出ない	• 「接続のしかた」を参照し、正しく接続し直す。 • 音量を上げる。 • 消音を解除する。 • ヘッドホンが差し込まれている場合はプラグを抜く。	10 26 26 12
ヘッドホンから音が出ない	• ヘッドホンプラグが正しく差し込まれているか確認する。 • 音量を上げる。	12 26
時刻表示が、ある時間で止まったまま点滅している	• 「時刻を合わせる」を参照し、時刻を合わせる。	15
タイマーが作動しない	• 「時刻を合わせる」を参照し、時刻を合わせる。 • タイマーの開始時刻と終了時刻を設定する。	15 54

チューナー部

症　状	処　置	参照ページ
放送局が受信できない	• アンテナを接続する。 • 放送バンドを合わせる。 • 受信したい放送局の周波数に合わせる。	10 38 39
雑音が入る	• 外部アンテナを道路から離して設置する。 • 電気器具の電源を切ってみる。 • テレビから離す。 • FMモードを[MONO]に設定する。	–– –– –– 39
オートプリセット後、プリセットボタンを押しても受信できない	• もう一度オートプリセットする。 • 受信できる周波数の放送局をマニュアルプリセットする。	40 43

リモコン部

症　状	処　置	参照ページ
リモコンで操作できない	• 新しい電池に入れ換える。 • 操作範囲内で操作する。	17 17

故障かな？と思ったら

SDカード部

症　状	処　置	参照ページ
SDカードを入れても音が出ない	• SDカードを正しく入れる。 • 曲ファイルが入っているSDカードを入れる。	62
録音が途中で止まる	• SDカードに録音可能な空き容量がない。 不要な曲を消す。消したくない場合は、録音用のSDカードを入れ換える。	50、62
録音または編集ができない	• 書き込み禁止スイッチをもとに戻すか、録音可能なSDカードに取り換える。 • 録音したい音源に切り換える。	19 ーー
録音後、一部のフォルダが見えなくなる	• フォルダ数が1000に達しているので、不要なフォルダを消す。	50
フォルダを削除できない	• 曲ファイル以外のファイルが入っている可能性があります。パソコンと合わせてSDカードをご確認ください。	51
SDカード内のすべてのフォルダ、ファイルが見えない	• SDカードのデータが破損、または本機で認識できないファイルが入っている可能性があります。	ーー

CD部

症　状	処　置	参照ページ
CDを入れても再生できない	• レーベル面を手前にして正しく入れる。 • 「CDディスクの保管とお手入れ」を参照し、ディスクを清掃する。 • 「結露にご注意」を参照し、露を蒸発させる。 • 本機で再生できない、または再生を保障していないディスクを再生しようとしている。	30 76 76 18、20
音声が出ない	• CD ►/II ボタンを押す。 • 「CDディスクの保管とお手入れ」を参照し、ディスクを清掃する。	31 76
音とびがする	• 「CDディスクの保管とお手入れ」を参照し、ディスクを清掃する。	76

用語集

用　語	意　味	ページ
AAC	正式名「Advanced Audio Coding」の略称。デジタル放送などに使用されている画像圧縮方法のオーディオ部分のみの圧縮規格。	19
CD-DA	音楽CDのこと。一般的に「CD」といえば、ほとんどの場合、CD-DAを指す。	18
ID3タグ	タイトル名、アーティスト名、アルバム名、ジャンルなど、曲ファイルに書き込まれている情報。	79
MP3	独Fraunhofer IISが開発した音声圧縮方式のひとつで、人間の聞き取りにくい部分のデータを間引くことによって高い圧縮率を得ることができ、音楽CD並みの音質を保ったまま約1/11(128kbps)に圧縮することができる。	19
SDHC	4GB以上の容量を持つSDカードの上位規格。 本機では対応していません。	18
VBR（可変ビットレート）	音楽の情報量に合わせて、ビットレートを変化させて割り当てる方式。	79
WMA	Microsoft社が開発した音声圧縮方式で、人間の聞き取りにくい部分のデータを間引くことによって高い圧縮率を得ることができ、音楽CD並みの音質を保ったまま約1/22(64kbps)まで圧縮することが可能。	19
サンプリング周波数	アナログ信号からデジタル信号への変換を1秒間に何回行うかを示す数値。音楽CDの場合は44.1kHz。一般的にサンプリング周波数が高いほど高音質となる。	19
ビットレート	1秒間にどのくらいの情報量があるかを示す数値。ビットレートが高いほど高音質となる。	19

保管とお手入れ

本機の保管とお手入れ

■ 次のような場所に置かない

- 直射日光の当たる場所。
- 湿気やほこりの多い場所。
- 暖房器具の熱が直接当たる場所。

■ 結露にご注意

本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴（露）が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。このようなときには、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。

気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋などでは、特に結露にご注意ください。

■ 汚れたら

前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶきします。シンナー、ベンジン、アルコール、接点復活剤などは変色、変形の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

CDディスクの保管とお手入れ

■ 保管するときは

長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

■ 汚れたら

- ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふきとってください。
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかないでください。
- ディスクアクセサリー（スタビライザー、保護シート、保護リングなど）およびレンズクリーナーは使わないでください。

■ その他お守りしていただきたいこと

- 鉛筆やボールペンなどで字を書かないでください。
- シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出している CD は使わないでください。
- 紙やシール、ラベルを貼らないでください。

SDカードの保管とお手入れ

■ 保管するときは

- 必ずケースに収納して保管してください。
- 極端に温度の高いところ（直射日光の当たるようなところ）や、湿度の高いところには置かないでください。

■ 汚れたら

- やわらかい布などで、軽くふきとってください。
- シンナー、ベンジン、アルコールでふかないでください。

■ その他お守りしていただきたいこと

- 分解や改造をしないでください。
- 貼られているラベルをはがさないでください。
- 新たにラベルやシールを貼らないでください。
- 裏面の金属端子部を手や金属で触れないでください。

■ SD カードを破棄 / 譲渡するときのお願い

本機やパソコンの機能による「初期化」や「削除」では、ファイルの管理情報が変更されるだけで、SD カード内のデータは完全に消去されません。廃棄 / 譲渡の際は、SD カード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使って SD カード内のデータを完全に消去することをおすすめします。

SD カード内のデータはお客様の責任において管理してください。

保証書とアフターサービス

保証書 [裏表紙にあります] について

- この商品には保証書がついています。お買い上げの際、販売店が発行します。
- 所定事項の記入をご確認のうえ内容をよくお読みになって、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。

修理サービスについて

ご使用中に調子が悪くなったときは「故障かな？と思ったら」73 〜 74 ページの一覧表に従って調べてください。なおらないときは、内部機構をさわらずに、お買い上げの販売店にご相談ください。

- 保証期間中の修理は
  保証書の規定に従い、お買い上げの販売店が修理させていただきます。製品に保証書を添えてご持参ください。
- 保証期間経過後の修理は
  修理により機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

コンパクト CD レコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造打ち切り後 6 年間です。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げの販売店にご相談ください。

アフターサービスについてご不明の場合は

お買い上げの販売店にお問い合わせください。

- 転居される場合は
  ご転居によりお買い上げの販売店のアフターサービスが受けられなくなる場合には最寄りの無印良品の販売店または販売元お客様室にお問い合わせください。
- ご贈答の場合は
  最寄りの無印良品の販売店にお問い合わせください。

点検のおすすめ

本機は高精度な技術によって構成された精密な機器です。ピックアップレンズやディスクの駆動部分がよごれたり、摩耗したりすると音質が損なわれます。きれいな音でお聞きいただくためには、使用環境（温度、湿度、ほこり）などによって異なりますが、およそ 1000 時間をめどに点検（清掃、一部部品交換）されることをおすすめします。くわしくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

長年ご使用のオーディオ機器の点検を ！

このような症状はありませんか？

- 電源コードやプラグが異常に熱い
- コゲくさい臭いがする
- 電源コードに深いキズや変形がある
- その他の異常や故障がある

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は、販売店にご相談ください。

仕　様

[アンプ部]

実用最大出力 ....2.5 W + 2.5 W (JEITA、4 Ω)
入力端子（感度/インピーダンス）
LINE (High)..........660 mV / 35 kΩ
LINE (Low)..........2,200 mV / 20 kΩ

[チューナー部]

FMチューナー部
受信周波数範囲 ....76 MHz - 90 MHz
アンテナインピーダンス ....75 Ω 不均衡

AMチューナー部
受信周波数範囲 ....522 kHz - 1,629 kHz

[SDカード部]

対応SDカード ....SDカード、miniSD™カード、microSD™カード
対応容量 ....128 MB～2 GB
ファイルシステム ....FAT 12 / 16 / 32
録音フォーマット / 形式
MP3 LP ....96 kbps / 44.1 kHz STEREO
MP3 SP ....128 kbps / 44.1 kHz STEREO
MP3 HQ ....192 kbps / 44.1 kHz STEREO

再生フォーマット / 形式
<MP3>
拡張子 mp3
MP3 対応規格 ....MPEG-1 / 2 Audio Layer-3
ビットレート（CBR/VBR*）..........32 - 320 kbps
サンプリング周波数 ....8 - 48 kHz
チャンネル ....2ch、1ch
(Stereo / Joint Stereo / Dual Channel / Single Channel)
ID3 Tag Ver. 1.0/ 1.1/ 2.2/ 2.3

<WMA>
拡張子 .... .wma
WMA 対応規格..........Windows Media Audio 9、DRM 非対応
ビットレート（CBR/VBR*）..........48 - 192 kbps
サンプリング周波数 ....8 - 48 kHz
チャンネル ....2ch、1ch (Stereo / MONO)

<AAC>
拡張子 m4a
AAC 対応規格..........MPEG-4 AAC
（iTunes™ 4.1～7.3で作成されたもの）
ビットレート ....16 - 320 kbps
サンプリング周波数 ....11.025 - 48 kHz

[CDプレーヤー部]

読み取り方式 ....非接触光学式読み取り（半導体レーザー）
D / A コンバーター ....1 ビット
オーバーサンプリング ....8 fs (352.8 kHz)
周波数特性 (JEITA) ....20 Hz - 20 kHz
ワウ・フラッター (JEITA) ....測定限界以下

[スピーカー部]

エンクロージャー ....バスレフ方式
スピーカーユニット ....フルレンジ 80 mm
インピーダンス ....4 Ω
最大入力 ....5 W

[電源部・その他]

付属ACアダプター（AC-120150A）
..........DC 12V（AC 100V、50 Hz/60 Hz）
定格消費電力（電気用品安全法に基づく表示）..........18 W
待機時消費電力 ....1.8 W以下
最大外形寸法 ....幅 378 mm
高さ 159 mm
（突起部含まず）
奥行 93 mm
質量（重量）..........2.1 kg(正味)

* VBRのオーディオデータは、上記のビットレートの範囲外になる場合があり、再生できないことがあります。

これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。
極端に寒い（水が凍るような）場所では十分な性能が発揮できないことがあります。

無印良品コンパクトCDレコーダー保証書

持込修理

形　名	DTR-N5
お客様	お名前（ふりがな）　　　　様　☎ 〒 ご住所
取扱販売店名・住所・電話番号	
保証期間	お買いあげ日　　年　月　日より　**本体は1年間**（ただし消耗部品は除く）

〈無料修理規定〉

1 取扱説明書・本体注意ラベルなどの注意書にしたがった正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合にはお買いあげの販売店が無料修理いたします。

2 保証期間内でも、次の場合には有料修理となります。
（イ）本書のご提示がない場合
（ロ）本書にお買いあげ年月日・お客様名・販売店名の記入がない場合、または字句を書き換えられた場合。
（ハ）使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障・損傷。
（ニ）お買いあげ後に落とされた場合などによる故障・損傷。
（ホ）火災・公害・異常電圧および地震・雷・風水害その他天災地変など、外部に原因がある故障・損傷。
（ヘ）一般家庭用以外（例えば、業務用）に使用された場合の故障・損傷。
（ト）消耗部品（ふたパッキン）が損耗し取り換えを要する場合。

3 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料や出張修理を行った場合の出張料はお客さまの負担となります。

4 本書は日本国内においてのみ有効です。

●本書は、記載内容の範囲で無料修理をさせていただくことをお約束するものです。

●保証期間中に故障が発生した場合は、お買いあげの販売店に修理をご依頼のうえ、本書をご提示ください。
お買いあげ年月日、販売店名など記入もれがありますと無効です。記入のない場合は、お買いあげの販売店にお申し出ください。

●ご転居・ご贈答品などでお買いあげの販売店に修理をご依頼できない場合は、お近くの無印良品の販売店または販売元お客様室にお問い合わせください。

●本書は再発行いたしません。たいせつに保存してください。

★この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがいまして、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などにつきましておわかりにならない場合は、お買いあげの販売店または販売元お客様室にお問い合わせください。

★保証期間経過後の修理または補修用性能部品の保有期間につきまして、くわしくは取扱説明書をご覧ください。

修理メモ

株式会社
良品計画　〒170-8424　東京都豊島区東池袋4-26-3
お客様室でんわ　(03) 3989-5200

販売元
株式会社 良品計画

〒 170-8424　東京都豊島区東池袋 4-26-3
お客様室　0120-14-6404
平日　10:00〜21:00
土・日・祝　10:00〜18:00

製造元
三洋電機株式会社

デジタルシステムカンパニー DI事業部
〒574-8534 大阪府大東市三洋町1番1号
電話　大東 (072) 870-4186 (直通)
受付　月曜日〜金曜日（祝日および当社の休日を除く）
10：00 〜 11：30、14：00 〜 17：00

1AJ6P1P0030-A（JP1）